

第 32 号 (2005 年 06 月 16 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 3 2 号 ★★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- 「金沢ピースネットフォーラム 2005」開催のお知らせ (7 月 10 日)
- 2005 年度 国際ユース作文コンテスト、間もなく締切 (6 月 30 日)
- 財団HPに「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」本川達雄講演録を追加
- 財団の協力で群馬県立女子大学「平和を考える大使リレー講座」開講中
- 姉妹団体ワールド ピース プレイヤー ソサエティ (WPPS) 行事日程

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 「金沢ピースネットフォーラム 2005」開催のお知らせ (7 月 10 日)
当財団では、2004 年度より年に数回、賛助会員の皆様との交流を深め、活動に関心のある方々に財団の使命と様々な平和活動を知っていただく目的で、地方「ピースネットフォーラム」を開催しています。
2005 年 7 月 10 日 (日) には、「金沢ピースネットフォーラム 2005」を開催いたします。

<金沢ピースネットフォーラム 2005 概要>

テーマ：「みつけよう！地球の笑顔・わたしの笑顔」
日 時：2005 年 7 月 10 日 (日) 13 時 30 分～16 時 00 分 (開場 12 時 30 分)
会 場：石川県教育会館 ホール (定員 350 名)
金沢市香林坊 1 丁目 2-40
交 通：JR 金沢駅東口 7 番～11 番バス乗り場より香林坊 (こうりんぼう)
経由バスにて約 10 分「香林坊」バス停下車、徒歩 3 分
タクシー 金沢駅東口より約 12 分
* 駐車場は有りませんのでご注意ください。
内 容：西園寺理事長挨拶、金沢より地球へのメッセージ、混声合唱など
主 催：五井平和財団
共 催：金沢ピースネットフォーラム 2005 を推進する会
入場料：無料
連絡先：野村依正 076-244-6269

● 2005年度 国際ユース作文コンテスト、間もなく締切（6月30日）

国連は、世界の人々が共通の目標に向かって取り組むために様々な「国際年」や「国際の10年」を制定しています。今年は「世界の子どもたちのための平和と非暴力の文化の10年」（2001年-2010年）の中期にあたるとともに、「国連持続可能な開発のための教育の10年」（2005年-2014年）が新たにスタートします。そこで、五井平和財団では「みんなの地球をまもる」をテーマに、本年度の国際ユース作文コンテストを行います。

皆様からの多数の作品応募をお待ちしております。

なお、応募締切りは6月30日（木）必着です。

<2005年度テーマ>

「みんなの地球をまもる」

私たち人間は大自然の恵みと多くの人々とのつながりによって生かされています。しかし、人間の活動はいろいろな形で地球を傷つけています。みんなの地球をまもりながら、すべての人々が豊かで幸せに暮らせる社会をつくるために、大切なことは何でしょう。今、あなたにできること、もう実行していること、また、将来やりたいことなどを自由に書いてください。

● 財団HPに「講演会シリーズ：21世紀の価値観」本川達雄講演録を追加

本年3月1日に都内で行われました、本川達雄東京工業大学・大学院生命理工学研究科教授による講演会の講演録「ゾウの時間・ネズミの時間・私の時間」が財団ホームページ上に追加されました。

● 財団の協力で群馬県立女子大学「平和を考える大使リレー講座」開講中

五井平和財団では、これまで、平和教育事業の一環として、「駐日外交官による交流プロジェクト」を全国各地の小中高等学校で展開してきました。

このプロジェクトを更に発展させる形で、本年5月10日、群馬県立女子大学と共同で「平和を考える大使リレー講座」（全15回）を開講しました。本講座は、外交の第一線で活躍している10カ国の駐日大使や各分野で平和貢献をされている日本人を講師としてお招きし、異文化理解や平和について話をしていただくものです。

本講座は、4月に同大学に新設された国際コミュニケーション学部の正規科目に位置付けられていますが、一般市民の聴講も可能です。参加費は無料です。

● 姉妹団体ワールドピースプレーヤーソサエティ（WPPS）行事日程

今年の姉妹団体ワールドピースプレーヤーソサエティ（WPPS）主催行事の開催予定日は、下記の通りです。

<第7回スコットランドWPPC>

開催日：6月18日（土） 時間・詳細は未定。

場 所：ワールド ピース プレヤー ソサエティ

アラントン・サンクチュアリ（スコットランド・ダンフリーズ市）

<アメニア ピース フェスティバル 2005>

開催日：9月18日（日） 時間・詳細は未定。

場 所：ワールド ピース プレヤー ソサエティ

ワールド ピース サンクチュアリ（米国ニューヨーク州）

【編集部だより】

◇『生命憲章』にもとづく平和教育は素晴らしい発展の時を迎えました。詳しくは、追って、お知らせします。 （出口）

◇当財団の協力が実を結び、実現の運びとなった「大使リレー講座」は、お陰様で、毎回200名以上の受講者が教室に詰め掛け、大盛況の賑わいです。初回の西園寺裕夫理事長による講義に続き、これまでに、モンゴル、ボスニア・ヘルツェゴビナ、パキスタン、アフガニスタンの各駐日大使が講師として、教壇に立たれました。以降、6名の大使がリレー形式で講義を行う予定です。（中山）

☆☆

第 31 号 (2005 年 03 月 28 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 31 号 ★★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」濱野恵一講演会開催のご案内 (6 月 7 日)
- 群馬県立女子大学「平和を考える大使リレー講座」のご案内
- 「鹿児島ピースネットフォーラム 2005」開催のお知らせ (4 月 17 日)
- 2005 年度 国際ユース作文コンテスト、作品募集中

☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」濱野恵一講演会開催のご案内 (6 月 7 日)
五井平和財団主催の「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 8 回講演会は 6 月 7 日 (火)、ノートルダム清心女子大学・大学院教授の濱野恵一氏を講師にお迎えし、下記の要領で開催いたします。

「これからの時代は合理的思考よりも“直感”、つまり“閃き体験”を重視すべきだと思います。普通の私たちを超えた何かが実際に働き、これが私たちの生きていくエネルギーを上昇させて合理的思考では達成できない成果を生む、“閃き体験”の意味を皆さまにお伝えしたいと思います」

皆様、どうぞ奮ってご参加ください。

<講演会の概要>

- ◇テ — マ : 「閃(ひらめ)き体験」が意味するもの
- ◇講 師 : 濱野恵一 (はまのけいいち)
ノートルダム清心女子大学・大学院教授
- ◇日 時 : 2005 年 6 月 7 日 (火) 18 時 30 分～20 時 (開場 18 時)
- ◇会 場 : 東京ウィメンズプラザ ホール (東京都渋谷区神宮前 5-53-67)
* JR 山手線・東急東横線・京急井の頭線「渋谷駅」徒歩 12 分
* 東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」徒歩 7 分
- ◇参 加 費 : 賛助会員 1,000 円 一般 1,500 円
- ◇申 込 方 法 : 往復ハガキに下記をご記入の上お申込みください。
往信の裏面に、1) 住所、2) 氏名、3) 電話番号、4) 参加人数をご記入ください。
返信の表面に、お申込者の住所と氏名をご記入ください。

◇申 込 締 切 : 2005 年 5 月 31 日 (火) 必着

* 先着順 (定員 246 名)

◇申 込 先 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-5 平和第 1 ビル

財団法人 五井平和財団「6 月 7 日 講演会」係 宛

TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919

● 群馬県立女子大学「平和を考える大使リレー講座」のご案内

五井平和財団では、これまで、平和教育事業の一環として、「駐日外交官による交流プロジェクト」を全国各地の小中高等学校で展開してきました。

このプロジェクトを更に発展させる形で、本年 5 月～12 月、群馬県立女子大学と共同で「平和を考える大使リレー講座」(全 15 回)を開講します。本講座は、外交の第一線で活躍している 10 ヶ国の駐日大使や各分野で平和貢献をされている日本人を講師としてお招きし、異文化理解や平和について話をしていただくものです。

本講座は、4 月に同大学に新設される国際コミュニケーション学部の正規科目に位置付けられていますが、一般市民の聴講も可能です。参加費は無料です。

● 「鹿児島ピースネットフォーラム 2005」開催のお知らせ (4 月 17 日)

当財団では、2004 年度より年に数回、賛助会員の皆様との交流を深め、活動に関心のある方々に財団の使命と様々な平和活動を知っていただく目的で、地方「ピースネットフォーラム」を開催しています。

2005 年 4 月 17 日 (日) には、「鹿児島ピースネットフォーラム 2005」を開催いたします。

<鹿児島ピースネットフォーラム 2005 概要>

テーマ : 「これからの生命観」

日 時 : 2005 年 4 月 17 日 (日) 13 時 30 分～16 時 30 分 (開場 12 時 30 分)

会 場 : 鹿児島県医師会館 4F 大ホール (定員 350 名)

鹿児島県鹿児島市中央町 8-1

交 通 : バス 西鹿児島駅近辺停留所 下車 徒歩 2 分

J R 西鹿児島駅 下車 徒歩 5 分

市電 西鹿児島駅前 下車 徒歩 2 分

内 容 : 西園寺理事挨拶、パネルディスカッション、フラッグセレモニー、音楽鑑賞

入場料 : 無料

連絡先 : 満尾 茂治 099-256-5636 (自宅) 090-3609-5312 (携帯)

● 2005 年度 国際ユース作文コンテスト、作品募集中

国連は、世界の人々が共通の目標に向かって取り組むために様々な「国際年」や「国際の10年」を制定しています。今年は「世界の子どもたちのための平和と非暴力の文化の10年」(2001年-2010年)の中期にあたるとともに、「国連持続可能な開発のための教育の10年」(2005年-2014年)が新たにスタートします。そこで、五井平和財団では「みんなの地球をまもる」をテーマに、本年度の国際ユース作文コンテストを行います。

皆様からの多数の作品応募をお待ちしております。

なお、応募締切りは6月30日(木)必着です。

<2005 年度テーマ>

「みんなの地球をまもる」

私たち人間は大自然の恵みと多くの人々とのつながりによって生かされています。しかし、人間の活動はいろいろな形で地球を傷つけています。みんなの地球をまもりながら、すべての人々が豊かで幸せに暮らせる社会をつくるために、大切なことは何でしょう。今、あなたにできること、もう実行していること、また、将来やりたいことなどを自由に書いてください。

【編集部だより】

◇財団として、直接に子どもたちに対し『生命憲章』を軸とした教育を行う

“地球っ子広場”の実施に向けて、準備中です。(出口)

◇4月より当財団もいよいよ設立7年目に突入し、既存のプロジェクトに加えて、新たな平和教育プロジェクトもスタートします。11月12日には、『平和の文化』創造のための2000年祭以来の一大行事となる、国際フォーラム2005も開催される予定です。どうぞご期待ください。(中山)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

第 30 号 (2005 年 02 月 04 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 30 号 ★★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- 2005 年度 国際ユース作文コンテスト、作品募集開始のお知らせ
- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」本川達雄講演会開催のご案内 (3 月 1 日)
- 「鹿児島ピースネットフォーラム 2005」開催のお知らせ (4 月 17 日)
- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 6 回講演録
(講師：ヒシャム モハメッド モスタファ バドル駐日エジプト大使) を追加

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 2005 年度 国際ユース作文コンテスト、作品募集開始のお知らせ
国連は、世界の人々が共通の目標に向かって取り組むために様々な「国際年」や「国際の 10 年」を制定しています。今年は「世界の子どもたちのための平和と非暴力の文化の 10 年」(2001 年-2010 年)の中期にあたりとともに、「国連持続可能な開発のための教育の 10 年」(2005 年-2014 年)が新たにスタートします。そこで、五井平和財団では「みんなの地球をまもる」をテーマに、本年度の国際ユース作文コンテストを行います。

皆様からの多数の作品応募をお待ちしております。

なお、応募締切りは 6 月 30 日 (木) 必着です。

<2005 年度テーマ>

「みんなの地球をまもる」

私たち人間は大自然の恵みと多くの人々とのつながりによって生かされています。しかし、人間の活動はいろいろな形で地球を傷つけています。みんなの地球をまもりながら、すべての人々が豊かで幸せに暮らせる 社会をつくるために、大切なことは何でしょう。今、あなたにできること、もう実行していること、また、将来やりたいことなどを自由に書いてください。

- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」本川達雄講演会開催のご案内 (3 月 1 日)
五井平和財団主催の「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 7 回講演会は 3 月 1 日 (火)、東京工業大学大学院教授の本川達雄氏を講師にお迎えし、下記の要領で開催いたします。

「ゾウの時間・ネズミの時間・私の時間」と題して、「動物の時間とは？」と考えることを通しながら、“生命とは何か” “様々な世界観を持つものたちとのつきあい方とは”そして“持続可能な社会をつくるための知恵とは”といった大きなテーマを探っていきます。

皆様、どうぞ奮ってご参加ください。

<講演会の概要>

- ◇テ　　マ：「ゾウの時間・ネズミの時間・私の時間」
- ◇講　　師：本川達雄（もとかわたつお）
東京工業大学大学院生命理工学研究科教授
- ◇日　　時：2005年3月1日（火）18時30分～20時（開場18時）
- ◇会　　場：東京ウィメンズプラザ ホール（東京都渋谷区神宮前5-53-67）
* JR山手線・東急東横線・京急井の頭線「渋谷駅」徒歩12分
* 東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」徒歩7分
- ◇参　加　費：賛助会員1,000円　一般1,500円
- ◇申　込　方　法：往復ハガキに下記をご記入の上お申込みください。
往信の裏面に、1)住所、2)氏名、3)電話番号、4)参加人数をご記入ください。
返信の表面に、お申込者の住所と氏名をご記入ください。
注）返信の裏面は何も記入しないでください。
- ◇申　込　締　切：2005年2月22日（火）必着
* 先着順（定員246名）
- ◇申　込　先：〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5 平和第1ビル
財団法人 五井平和財団「3月1日講演会」係 宛
TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919

●「鹿児島ピースネットフォーラム2005」開催のお知らせ（4月17日）

当財団では、2004年度より年に数回、賛助会員の皆様との交流を深め、活動に関心のある方々に財団の使命と様々な平和活動を知っていただく目的で、地方「ピースネットフォーラム」を開催しています。

2005年4月17日（日）には、「鹿児島ピースネットフォーラム2005」を開催する予定です。

<鹿児島ピースネットフォーラム2005概要>

テーマ：「これからの生命観」

日　　時：2005年4月17日（日）13時30分～16時30分（開場12時30分）

会　　場：鹿児島県医師会館 大ホール（定員350名）

鹿児島県鹿児島市中央町8-1

交 通：バス 西鹿児島駅近辺停留所 下車 徒歩 2 分

J R 西鹿児島駅 下車 徒歩 5 分

市電 西鹿児島駅前 下車 徒歩 2 分

内 容：西園寺理事挨拶、パネルディスカッション、フラッグセレモニー、
音楽鑑賞

入場料：無料

●「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 6 回講演録

（講師：ヒシャム モハメッド モスタファ バドル駐日エジプト大使）を追加
昨年 12 月 7 日に行われましたヒシャム モハメッド モスタファ バドル駐日エジ
プト大使による講演会の講演録「平和・正義・寛容—アラブ・イスラム世界の
より良い理解のために—」が追加されました。

【編集部だより】

◇2004 年 10 月 2 日に札幌で、本年は 1 月 23 日に徳島で、それぞれ五井平和財団主催
と地元有志共催のピースネットフォーラムが開催され、大きな成功を巻き起こし
ました。こうしたピースネットを共に広げていきましょう！ （出口）

◇いよいよ今年で 6 回目となる国際ユース作文コンテストの作文募集が始まりま
した。子どもや若者達の柔軟で新鮮な発想によって、「みんなの地球をまもる」
ための様々な提言が、従来の「豊かさや幸せの追求」VS「自然環境の破壊」と
いう図式を越えた視点から寄せられることと、期待に胸が膨らみます。（中山）

☆☆

第 29 号 (2004 年 12 月 27 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 29 号 ★★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- 2004 年度五井平和財団フォーラム「世界を変える個のカ」開催報告
- 2004 年度「五井平和賞」オスカル・アリアス・サンチェス氏が受賞
- 2004 年国連「国際平和デー」教育プログラム実施報告
- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」本川達雄講演会開催のご案内 (3 月 1 日)
- 「徳島ピースネットフォーラム 2005」開催のご案内 (1 月 23 日)
- 「駐日外交官による交流プロジェクト」最新情報

☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 2004 年度五井平和財団フォーラム「世界を変える個のカ」開催報告
去る 11 月 21 日 (日)、文京シビックホール (東京都文京区) にて、2004 年度五井平和財団フォーラム「世界を変える個のカ」が開催されました。
- 2004 年度「五井平和賞」オスカル・アリアス・サンチェス氏が受賞
2004 年度「五井平和賞」は、厳正な審査の結果、元コスタリカ大統領でノーベル平和賞受賞者でもあるオスカル・アリアス・サンチェス氏に決定しました。
前述の「2004 五井平和財団フォーラム」では、去る 10 月 6 日、東京にて行われた五井平和賞授賞式およびアリアス氏の受賞記念講演の様子がビデオで紹介されました。
- 2004 年国連「国際平和デー」教育プログラム実施報告
9 月 21 日は国際連合が定めた「国際平和デー」です。すべての国、すべての人々が共通の理想である国際平和を記念し、推進・実践する日です。国連はこの日を世界の停戦と非暴力の日として、すべての国と人々にこの日一日、敵対行為を停止するよう働きかけています。
五井平和財団では、本年も、国際連合広報センターとの共催で、国連「国際平和デー」教育プログラムを実施いたしました。

●「講演会シリーズ：21世紀の価値観」本川達雄講演会開催のご案内（3月1日）

五井平和財団主催の「講演会シリーズ：21世紀の価値観」第7回講演会は3月1日（火）、東京工業大学大学院教授の本川達雄氏を講師にお迎えし、下記の要領で開催いたします。

「ゾウの時間・ネズミの時間・私の時間」と題して、「動物の時間とは？」と考えることを通しながら、“生命とは何か”“様々な世界観を持つものたちとのつきあい方とは”そして“持続可能な社会をつくるための知恵とは”といった大きなテーマを探っていきます。

皆様、どうぞ奮ってご参加ください。

<講演会の概要>

◇テ　　マ　：「ゾウの時間・ネズミの時間・私の時間」

◇講　　師　：本川達雄（もとかわたつお）

東京工業大学大学院生命理工学研究科教授

◇日　　時　：2005年3月1日（火）18時30分～20時（開場18時）

◇会　　場　：東京ウィメンズプラザ ホール（東京都渋谷区神宮前5-53-67）

* JR山手線・東急東横線・京急井の頭線「渋谷駅」徒歩12分

* 東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」徒歩7分

◇参　加　費　：賛助会員1,000円　一般1,500円

◇申　込　方　法　：往復ハガキに下記をご記入の上お申込みください。

往信の裏面に、1)住所、2)氏名、3)電話番号、4)参加人数をご記入ください。

返信の表面に、お申込者の住所と氏名をご記入ください。

注）返信の裏面は何も記入しないでください。

◇申　込　締　切　：2005年2月22日（火）必着

* 先着順（定員246名）

◇申　込　先　　：〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5 平和第1ビル

財団法人 五井平和財団「3月1日 講演会」係 宛

TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919

●「徳島ピースネットフォーラム2005」開催のお知らせ（1月23日）

当財団では、本年度より年に数回、賛助会員の皆様との交流を深め、活動に関心のある方々に財団の使命と様々な平和活動を知っていただく目的で、地方「ピースネットフォーラム」を開催しています。入場料は無料です。

2005年1月23日（日）には、「徳島ピースネットフォーラム」を開催する予定です。

<徳島ピースネットフォーラム概要>

テーマ：「平和意識の共有に向けて」

日 時：2005年1月23日（日）13時30分～16時（開場12時30分）

会 場：徳島県教育会館 小ホール（定員300名）
徳島市北田宮 1-8-68

交 通：*当日は会場から徒歩5分の河川敷に特設駐車場を設ける予定です。

内 容：西園寺裕夫理事長記念講演、世界の子どもたちからのメッセージ、
地球へのピースメッセージなど

なお、2005年4月17日（日）、鹿児島県医師会館（鹿児島市）において、「鹿児島ピースネットフォーラム2005」が開催される予定です。詳細につきましては機関誌『平和の創造』22号（1月25日発行）、当財団のウェブサイト、本メールマガジン上などでお知らせいたします。

●「駐日外交官による交流プロジェクト」最新情報

五井平和財団では、当財団の持つ平和ネットワークを活用して、「駐日外交官による交流プロジェクト」を企画・推進しています。

このプロジェクトは、2001年10月以来、当財団が文部科学省の指導のもと、全国の小・中・高等学校において推進している平和教育プログラムです。国際外交の第一線で活躍している各国駐日大使館の外交官がゲストティーチャーとして学校や地域を訪問し、自国の生活・文化や世界の平和を目指す外交官の仕事などを紹介。レクチャー・児童生徒とのディスカッション・交流会を通して、青少年の生きた国際理解教育を推進するものです。現在89ヶ国の各国大使館が本プロジェクトに参加しています。

【編集部だより】

◇2005年は財団の飛躍の年となるように願っています。ありがとうございます。

（出口）

◇本年最後のメールマガジン発行となりました。来年も皆様に新鮮な財団の活動情報をお届けして参ります。引き続き、ご愛読いただきますよう、宜しく願い申し上げます。

（中山）

☆☆

第 28 号 (2004 年 11 月 05 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 28 号 ★★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- 2004 年度 国際ユース作文コンテスト受賞者発表！
- 2004 年度 五井平和財団フォーラム「世界を変える個の力」開催のお知らせ
- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」バドル駐日エジプト大使講演会のご案内
- 徳島ピースネットフォーラム 2005、開催のお知らせ
- オリンピック開催地アテネ市にピースポール贈呈
- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 5 回講演録(講師：田島義博)を追加
- 青少年のための夏休みフォーラム 2004、開催報告

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【WORDS OF INSPIRATION】

人類一人一人が自らの自由な意志と責任とにおいて、国境を越えて他の国々と交流し、すべての国、人種、民族、宗教宗派を超えて、お互いが個に戻り、いかなる人をも尊重し、包容し、理解しあってこそ、新の平和は成り立つのである。

西園寺 昌美

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 2004 年度 国際ユース作文コンテスト受賞者発表！

今年度の国際ユース作文コンテストへの多数の作品応募、誠にありがとうございました。

「自分の長所をいかす」をテーマにした今年度の募集に対し、世界 111 カ国から合計 4,012 点 (子どもの部 2,558 点、若者の部 1,454 点) に及ぶ応募作品が寄せられました。厳正な選考作業の結果、「子どもの部」では日本と米国の二重国籍を持つ丹部 アレキサンダー 大裕君 (13 歳)、「若者の部」では中国人でフランス留学中の蘇杭 (スー・ハン) さん (24 歳) の作品が、それぞれ最優秀作品として選ばれました。お二人には、11 月 21 日 (日) 文京シビックホール (東京都文京

区)にて開催される「2004年度五井平和財団フォーラム」の中で、文部科学大臣奨励賞が授与されます。また、受賞作品の発表が予定されています。

<2004年度 国際ユース作文コンテスト上位入賞者>

◎文部科学大臣奨励賞 (各1点)

子どもの部 丹部 アレキサンダー 大裕 (日本国/米国) 13歳・男

若者の部 蘇 杭 (中華人民共和国/フランス在住) 24歳・女

◎優秀賞 (各2点)

子どもの部 岡田 航洋 (日本国/スイス在住) 11歳・男

S・S・リシャッド (バングラデシュ人民共和国) 12歳・男

若者の部 栗山 明 (日本国) 22歳・男

バーワード・ジョンソン (リベリア共和国) 25歳・男

- 2004年度 五井平和財団フォーラム「世界を変える個の力」開催のお知らせ
既に本メールマガジン臨時号(10月19日発行)でもお知らせいたしましたが、来たる11月21日(日)14時~17時、五井平和財団の年次行事である「2004年度五井平和財団フォーラム」文京シビックホール(東京都文京区)において開催されます。本年も盛りだくさんのプログラムを準備してお待ちしております。どうぞお誘いあわせのうえ、皆様ふるってご参加いただけますようお願い申し上げます。

<行事の概要>

◇テーマ:「世界を変える個の力」

◇日時:11月21日(日)14時~17時(開場13時)

◇場所:文京シビックホール(大ホール)

*東京メトロ丸の内線・南北線「後樂園駅」より徒歩0分

*都営地下鉄三田線・大江戸線「春日駅」より徒歩1分

:JR中央・総武線「水道橋駅」西口より徒歩8分

◇主催:財団法人 五井平和財団

◇後援:文部科学省

◇入場料:3,000円(全席自由)

<プログラム>

◎第1部「五井平和賞 受賞記念講演(ビデオ上映)」

オスカル・アリアス・サンチェス氏(元コスタリカ共和国大統領、
1987年ノーベル平和賞受賞者)

「若者からのメッセージ」

2004年度 国際ユース作文コンテスト授賞式、及び受賞作品発表

◎第2部 パネルディスカッション「内なる能力を発揮する」

遺伝子研究の権威、ヘルスカウンセリングの第一人者、教育界のエキスパートの方々が私達に秘められている無限の能力について、そしてその開発・発揮方法などを専門的見地から語り合います。

*コーディネーター

- ・村上和雄氏（筑波大学名誉教授、財団法人国際科学振興財団理事およびバイオ研究所長）

*パネリスト

- ・宗像恒次氏（筑波大学大学院人間総合科学研究科ヘルスカウンセリング学教授）
- ・富岡賢治氏（群馬県立女子大学長、元文部省生涯学習局長）
- ・西園寺昌美（財団法人 五井平和財団会長）

第3部 「TINGARAコンサート&ピースセレモニー」

*映画『地球交響曲』やCMで話題のTINGARAのライブ。沖縄のサウンドと世界各国の平和を祈るフラッグセレモニーが融合します。

●「講演会シリーズ：21世紀の価値観」バドル駐日エジプト大使講演会のご案内
五井平和財団主催の「講演会シリーズ：21世紀の価値観」第6回講演会は12月7日（火）、駐日エジプト特命全権大使のヒシャム・モハメッド・モスタファ・バドル氏を講師にお迎えし、下記の要領で開催いたします。

今、国際情勢の中で注目を集めているアラブ・イスラム世界。知っているようで実はあまり知らないこの世界をより良く理解するために、バドル大使が外交的な立場、そして親日派としての視点から皆さんへ語りかけます。講演会の後半には対話を深めるためのQ&Aもあり、新しい視野が広がるきっかけとなる時間をお届けします。（*逐次通訳がつきます。）

皆様、どうぞ奮ってご参加ください。

<講演会の概要>

◇テーマ：「平和・正義・寛容

—アラブ・イスラム世界のより良い理解のために—

◇講師：ヒシャム・モハメッド・モスタファ・バドル氏

（駐日エジプト特命全権大使）

◇日時：2004年12月7日（火）18時30分～20時（開場18時）

◇会場：東京ウィメンズプラザ ホール（東京都渋谷区神宮前5-53-67）

* JR山手線・東急東横線・京急井の頭線「渋谷駅」徒歩12分

* 東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」徒歩7分

◇参加費：賛助会員 1,000 円 一般 1,500 円

◇申込方法：往復ハガキに下記をご記入の上お申込みください。

往信の裏面に、1)住所、2)氏名、3)電話番号、4)参加人数を
ご記入ください。

返信の表面に、お申込者の住所と氏名をご記入ください。

注) 返信の裏面は何も記入しないでください。

◇申込締切：2004年11月30日（火）必着

* 先着順（定員 246 名）

◇申込先：〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-5 平和第 1 ビル

財団法人 五井平和財団「12月7日講演会」係 宛

TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919

● 徳島ピースネットフォーラム 2005、開催のお知らせ

当財団では、本年度より年に数回、賛助会員の皆様との交流を深め、活動に関心のある方々に財団の使命と様々な平和活動を知っていただく目的で、地方「ピースネットフォーラム」を開催しています。入場料は無料です。

2005年1月23日（日）には、「徳島ピースネットフォーラム 2005」を開催する予定です。

<徳島ピースネットフォーラム概要>

テーマ：平和意識の共有に向けて

日時：2005年1月23日（日）13時30分～16時（開場 12時30分）

会場：徳島県教育会館 小ホール（定員 名）

徳島市北田宮 1-8-68

交通：* 当日は会場から徒歩 5 分の河川敷に特設駐車場を設ける予定です。

* 徳島市バス「吉野本町 6 丁目」下車 徒歩 6 分

同 「東田宮」下車 徒歩 8 分

徳島バス 「吉野橋」下車 徒歩 7 分

内容：西園寺裕夫理事長による講演、世界の子どもたちからのメッセージ、地球へのピースメッセージなど

なお、2005年4月17日（日）、「鹿児島ピースネットフォーラム」が予定されています。（会場は鹿児島県医師会館を予定。詳細未定）

● オリンピック開催地アテネ市にピースポール贈呈

去る9月23日、オリンピックとパラリンピックが開催されたギリシャ・アテネ市にピースポールが公式に立てられました。これは五井平和財団からアテネ市に

対し贈られたもので、都心に近いパノルモウ駅の広場でピースポールの贈呈式が行われました。ピースポールは平和の象徴であるオリーブの木とともに立てられました。

●「講演会シリーズ：21世紀の価値観」第5回講演録（講師：田島義博）を追加
去る9月10日に行われました田島義博氏（学校法人 学習院長）による講演会の
講演録『人間力を育てる』が追加されました。

田島氏の講演会の内容を収録・編集したカセットテープの頒布も開始します。
価格は1本1,000円（税込み）です。

ご希望の方は、他の頒布品と同様に、電話、ファックスまたは電子メールにて
当財団頒布品係までご注文ください。なお、送料は実費を申し受けております。

<過去の講演会録音テープ>

* 第1回「宇宙のひとかけらとしての私たち」（佐治晴夫宮城大学教授）

* 第2回「奪われし未来から甦る未来」（比嘉照夫琉球大学教授）

* 第3回『『笑い』と『感動』はよい遺伝子を目覚めさせる』

（村上和雄筑波大学名誉教授）

* 第4回「オリンピックと環境」（ミズノ株式会社代表取締役社長）

<録音テープ注文先>

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-5 平和第1ビル

財団法人 五井平和財団 頒布品係 宛

TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919 メール info@goipeace.or.jp

● 青少年のための夏休みフォーラム 2004、開催報告

五井平和財団では、『生命憲章』の精神に基づいた平和教育プログラムを推進
しています。

去る7月21日、国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）に
おいて、小中学生と保護者を対象の「青少年のための夏休みフォーラム 2004」を
実施しました。外交官と自然体験活動の専門家の方々を講師としてお招きし、
自然や生物との触れ合い方について学びました。

【編集部だより】

◇年次行事である五井平和財団フォーラムまで3週間を切りました。人類の価値
観はモノからココロへ、形の世界からイメージの世界へと急激に転換し
ています。財団フォーラムに参加して下さるといことは、パラダイムシフトを

実現せしめる財団活動そのものであると信じております。 (出口)

◇今年度の作文コンテスト受賞者、丹部 アレキサンダー 大裕君の将来の夢は、世界をリードするオペラ歌手になって、人々に感動を与え、世界の平和に貢献することだそうです。フォーラムでこの若きリーダーに会えるのが楽しみです。

(中山)

☆☆

第 27 号 (2004 年 08 月 13 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 27 号 ★★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- 2004 年度「五井平和賞」受賞者、オスカル・アリアス・サンチェス氏に決定
- 五井平和財団、国連経済社会理事会 (ECOSOC) との協議資格を取得
- ミュンヘン大学で五井平和財団提供の平和学講座
- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」田島義博講演会、参加申込み受付中
- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 4 回講演録 (講師：水野正人) を追加
- 札幌ピースネットフォーラム開催のお知らせ
- 神戸ピースネットフォーラム開催報告
- ダライラマ法王が WPPC に参加 (スコットランド)
- 2004 年度 国際ユース作文コンテストは募集を締め切りました！

☆☆

【WORDS OF INSPIRATION】

今の自分の想いが、自分の運命をつくり出しているのであり、社会、国家、人類の未来を描き出しているのである。

五井 昌久

☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 2004 年度「五井平和賞」受賞者、オスカル・アリアス・サンチェス氏に決定
五井平和財団では「五井平和賞」を設け、教育・科学・文化・芸術等の分野から、人類社会に真の平和と調和をもたらす上で顕著な功績があり、『生命憲章』の理念原則と同じ方向性を持つ個人や団体を顕彰しています。
厳正な審査の結果、2004 年度は、元コスタリカ大統領でノーベル平和賞受賞者でもあるオスカル・アリアス・サンチェス氏に授与されることが決定しました。

- 五井平和財団、国連経済社会理事会（ECOSOC）との協議資格を取得
2004年7月、五井平和財団は国際連合・経済社会理事会（ECOSOC）に「特殊協議資格」を有するNGOとして正式認定されました。

今回、五井平和財団が協議資格を取得したことは、これまでの平和啓発活動など国際貢献の実績が評価されたもので、今後は、経済社会理事会および補助機関の会議に出席し、検討事項に関する発言および書面による提言を行える等、国際的な活動にも新たな場が与えられることとなります。

経済社会理事会は国連の主要機関の一つで国際的な経済、社会、文化、教育、保険、人権などの問題を担当し、数多くの委員会や専門機関を設置し広範囲に及ぶ活動を行っています。

- ミュンヘン大学で五井平和財団提供の平和学講座

2004年5月よりミュンヘン大学政治学アカデミーで五井平和財団がスポンサーを務める「平和と紛争の科学に関する五井平和講座」と題された大学院生を対象とした一年間の講座（二学期）が始まりました。平和と紛争解決について政治学及び社会科学的な調査・研究手法を導入した講義に加え、財団制作のテキストを用いて五井昌久氏の平和哲学を紹介してゆく企画です。

6月に同大学でこの講座の開設を記念してのシンポジウムが開催され、国際的に活躍されている多数の大学関係者と、財団側から西園寺昌美会長、西園寺裕夫理事長が出席しました。この際、本年7月ドイツ連邦共和国の新大統領に就任したホルスト・ケーラー氏から届いた祝辞が読み上げられると、会場は沸き返りました。

- 「講演会シリーズ：21世紀の価値観」田島義博講演会、参加申込み受付中

五井平和財団主催の「講演会シリーズ：21世紀の価値観」第5回講演会は9月10日（金）、学校法人 学習院長の田島義博氏（本財団理事）を講師にお迎えし、下記の要領で開催いたします。

21世紀を創造するために必要な「人間力」の大切さや育て方について、教育者のお立場から、ユーモアを交えてお話しいただきます。

皆様、どうぞ奮ってご参加ください。

<講演会の概要>

◇テーマ：「人間力」を育てる

◇講師：田島義博（たじまよしひろ） 学校法人 学習院長

◇日時：2004年9月10日（金）18時30分～20時（開場18時）

◇会場：学習院 創立百周年記念会館 正堂（東京都豊島区目白1-5-1）

* JR「目白駅」より徒歩1分

◇参加費：賛助会員 1,000 円 一般 1,500 円

* 学習院の教職員および学生は無料

◇申込方法：往復ハガキに下記をご記入の上お申込みください。

往信の裏面に、1)住所、2)氏名、3)電話番号、4)参加人数、
5) (学習院教職員および学生の方のみ) 所属、をご記入ください。

返信の表面に、お申込者の住所と氏名をご記入ください。

注) 返信の裏面は何も記入しないでください。

◇申込締切：2004年9月3日(金) 必着

* 先着順 (定員 1140 名)

◇申込先：〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-5 平和第 1 ビル

財団法人 五井平和財団「9月10日講演会」係 宛

TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919

◇後援：学校法人 学習院

● 「講演会シリーズ：21世紀の価値観」第4回講演録(講師：水野正人)を追加
6月2日に行われました水野正人氏(ミズノ株式会社代表取締役社長)による
講演会の講演録「オリンピックと環境」が追加されました。

水野氏の講演会の内容を収録・編集したカセットテープも頒布しています。
価格は1本1,000円(税込み)です。

ご希望の方は、他の頒布品と同様に、電話、ファックスまたは電子メールにて
当財団頒布品係までご注文ください。なお、送料は実費を申し受けております。

* 第1回講演会「宇宙のひとかけらとしての私たち」(講師=佐治晴夫宮城大学
教授)、第2回講演会「奪われし未来から甦る未来」(講師=比嘉照夫琉球大学
教授)、及び第3回講演会「『笑い』と『感動』はよい遺伝子を目覚めさせる」
(講師=村上和雄筑波大学名誉教授)の録音テープも好評頒布中です。

<録音テープ注文先>

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-5 平和第 1 ビル

財団法人 五井平和財団 頒布品係 宛

TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919 メール info@goipeace.or.jp

● 札幌ピースネットフォーラム開催のお知らせ

当財団では、本年度より年に数回、賛助会員の皆様との交流を深め、活動に
関心のある方々に財団の使命と様々な平和活動を知っていただく目的で、地方
「ピースネットフォーラム」を開催しています。

10月2日(土)には、「札幌ピースネットフォーラム」を開催する予定です。

北海道

<札幌ピースネットフォーラム概要>

日時：2004年10月2日（土）13:30～16:00（開場13:00）

会場：札幌市男女共同参画センター 3階ホール（定員320名）

札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内

交通：JR札幌駅北口より徒歩3分

：地下鉄南北線さっぽろ駅より徒歩7分、東豊線さっぽろ駅より徒歩10分

内容：講演、パネルディスカッション、フラッグセレモニー、ピースコンサートなど

* 入場料は無料です。

なお、2005年1月23日（日）13:30～16:00、「徳島ピースネットフォーラム」が予定されています。（会場は徳島県教育会館を予定。詳細未定）

● 神戸ピースネットフォーラム開催報告

2004年7月11日、前記の地方「ピースネットフォーラム」の第1回目として、400名が参加して「神戸ピースネットフォーラム2004」が盛大に行われました。

● ダライラマ法王がWPPCに参加（スコットランド）

2004年6月、チベットのダライラマ法王が英国スコットランドのダンフェルムリン市とエジンバラ市を相次いで訪問され、ピースポールの除幕式とフラッグセレモニー（WPPC）に参加されました。

● 2004年度 国際ユース作文コンテストは募集を締め切りました！

去る6月30日、「2004年度 国際ユース作文コンテスト」の作品募集を締め切りました。多数のご応募、ありがとうございました！

「自分の長所をいかす」をテーマにした今年度の募集に対し、多数の応募作品が寄せられ、現在、厳正な選考作業が行われています。

選考結果につきましては、11月上旬、当ホームページ上にて発表いたします。各部門の最優秀賞受賞者（2名）には、11月21日（日）文京シビックホール（東京都文京区）にて開催される「五井平和財団フォーラム」の中で、文部科学大臣奨励賞が授与される予定です。

【編集部だより】

◇アテネオリンピック開会の日、今回のメルマガが発行されました。生まれ故郷に戻ったオリンピック。私達人類も平和で調和した生まれ故郷に戻りたいものです。オリンピック停戦が恒久平和につながる、特にそういう気のするアテネでの開催です。 (出口)

◇先月、五井平和財団は国連経済社会理事会（ECOSOC）との特殊協議資格を正式に取得しましたが、まさに設立6年目にしての快挙です！ これにより、今後「平和の創造」という専門分野において、当財団が国際世論の形成に深く関与できる道が開かれました。いよいよ私達が推進する平和活動の中身が問われ時がやって来ました。スタッフの一員として身の引き締まる思いがいたします。 (中山)

☆☆

第 26 号 (2004 年 06 月 09 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 26 号 ★★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- 「2004 年度 国際ユース作文コンテスト」間もなく締切 (6 月 30 日)
- 「青少年のための夏休みフォーラム 2004」開催のご案内 (7 月 21 日)
- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」田島義博講演会のご案内 (9 月 10 日)
- いちかわ「平和の祭典」開催報告
- 西園寺会長・理事長、エチオピア大統領と会見 (報告)
- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」比嘉照夫氏、村上和雄氏の講演録追加
- 韓国語 (朝鮮語) 版『生命憲章』、新たに追加

☆☆

【WORDS OF INSPIRATION】

感謝しなければならぬ一番根本は、自分自身の生命についてでありましょう。生命がなければ自分がないのですから、生命程大事なものは無いわけで、ここに無事に存在するということに対しては、感謝せずにはおられないわけです。

五井 昌久

☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 「2004 年度 国際ユース作文コンテスト」間もなく締切 (6 月 30 日)
五井平和財団では、国連が定めた「世界の子どもたちのための平和と非暴力の文化の 10 年 (2001 年～2010 年)」を記念して、「2004 年度 国際ユース作文コンテスト」の作品を募集中です。

若い皆様の多数のご応募をお待ちしております。
なお、作品応募の締切りは 6 月 30 日 (水) 必着です。

<本年度テーマ>

人はみんな、それぞれにちがった長所を持っています。あなたの長所は何ですか。あなたは自分自身のどんなところが好きですか。あなたは自分の長所を社会のためにどのように役立てたいと考えていますか。「自分の長所をいか

す」というテーマで、自由に書いてください。

●「青少年のための夏休みフォーラム 2004」開催のご案内（7月21日）

みなさん、もう夏休みの予定は立てましたか？ 夏は海、山、身近な公園など自然の中へ出かけるのにぴったりの季節です。そこで五井平和財団では、夏休みのスタートに合わせて、夏休みの楽しい過ごし方や、自然との楽しみ方をテーマとしたフォーラム（主催：五井平和財団、後援：東京都教育委員会）を行います。各国の外交官や自然体験の専門家からお話を聞いてみませんか？

*このフォーラムを通して自然と親しむことの楽しさや大切さを学び、充実した夏休みを過ごしていただきたいと考えています。（本フォーラムは野外活動ではありません。）たくさんのご参加をお待ちしています。

この活動は、子どもゆめ基金（独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター）の助成活動です。

<行事の概要>

◇テーマ：「さあ、夏休みだ！ 自然をたのしもう！」

◇日時：2004年7月21日（水）午後1時～4時30分（開場 正午）

◇会場：国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟
小ホール（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

*（電車の場合）小田急線「参宮橋駅」より徒歩7分、地下鉄千代田線「代々木公園駅」代々木公園方面出口より徒歩10分

*（バスの場合）京王バスにて、新宿駅西口（16番）より代々木5丁目下車、渋谷駅西口（14番）より代々木5丁目下車

☆会場までの交通案内 <http://www.nyc.go.jp/outline/b5.html>

◇プログラム：第1部「世界の子どもの夏の過ごし方」

講師）・英国大使館広報担当官

クライブ・ヒューズ

・アルジェリア大使館広報・文化・領事担当

ザイラ・ラムダニ

第2部「気軽にはじめる夏休み自然体験活動」

講師）・「夏の海岸は宝物がいっぱい！」

村石健一（CONE自然活動指導員、「NPO法人 パパラギ海と自然の教室」非常勤職員）

・「夏は樹木となかよくしよう」

小山文大（森林インストラクター、NPO法人地域パートナーシップ支援センター副理事長）

・「セミの声がきこえたら・・・」

倉地鉄雄（東京都環境学習リーダー、渋谷区
青少年体験活動支援センター代表）

・「みんなで楽しもう！夏の星空」

小野紀之（東京都環境学習講座講師、自然観察
指導員、NPO法人 地域パートナーシップ支援
センター理事長）

◇対 象：小学校高学年～中学3年生、および保護者

◇参加費：無料

◇申込方法：官製ハガキ、ファックス、あるいは電子メールでお申込みください。その際、1) 申込者の住所、2) 電話番号、3) 学校名・学年
4) 氏名、5) 保護者名、6) その他の参加者全員の氏名、7) 人数の
内訳をご明記の上、財団法人五井平和財団「夏休みフォーラム
2004」係までお申込みください。

◇申込締切：2004年7月12日（月）必着 先着順（定員350名）

* 申込者が定員に達し、ご参加いただけない場合のみご連絡いたします。

◇申込先：〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5 平和第1ビル
財団法人 五井平和財団「夏休みフォーラム2004」係 宛
TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919
電子メール info@goipeace.or.jp

●「講演会シリーズ：21世紀の価値観」田島義博講演会、ご案内（9月10日）

五井平和財団主催の「講演会シリーズ：21世紀の価値観」第5回講演会は9月10日（金）、学校法人 学習院長の田島義博氏（本財団理事）を講師にお迎えし、下記の要領で開催いたします。

21世紀を創造するために必要な「人間力」の大切さや育て方について、教育者のお立場から、ユーモアを交えてお話しいただきます。

皆様、どうぞ奮ってご参加ください。

<講演会の概要>

◇テーマ：「人間力」を育てる

◇講師：田島義博（たじまよしひろ） 学校法人 学習院長

◇日時：2004年9月10日（金）18時30分～20時（開場18時）

◇会場：学習院 創立百周年記念会館 正堂（東京都豊島区目白1-5-1）

* JR「目白駅」より徒歩1分

◇参加費：賛助会員 1,000 円 一般 1,500 円

* 学習院の教職員および学生は無料

◇申込方法：往復ハガキに下記をご記入の上お申込みください。

往信の裏面に、1)住所、2)氏名、3)電話番号、4)参加人数、
5) (学習院教職員および学生の方のみ) 所属、をご記入ください。

返信の表面に、お申込者の住所と氏名をご記入ください。

注) 返信の裏面は何も記入しないでください。

◇申込締切：2004年9月3日(金) 必着

* 先着順 (定員 1140 名)

◇申込先：〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-5 平和第 1 ビル

財団法人 五井平和財団「9月10日講演会」係 宛

TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919

◇後援：学校法人 学習院

● いちかわ「平和の祭典」開催報告

4月24日、五井昌久氏が提唱した世界平和運動の発祥の地である千葉県市川市において、いちかわ「平和の祭典」が開催されました。

また、本行事の様子はスカイパーフェクトV! 216 チャンネル「平和の創造」(五井平和財団提供CS放送番組)でも放映される予定ですので、併せてどうぞご覧ください。

<放送日程>

6月18日(金) *2回放映

・1回目 9時~9時30分 ・2回目 19時30分~20時

● 西園寺会長・理事長、エチオピア大統領と会見(報告)

2003年11月26日、西園寺昌美会長と西園寺裕夫理事長はエチオピアの首都アジスアベバの大統領官邸を訪問し、ギルマ・ウォルデギオルギス大統領と会見しました。会見の席上、卓上ピースポールが同大統領に贈呈されました。

詳しくは、下記のサイトをご覧ください。

● 「講演会シリーズ：21世紀の価値観」比嘉照夫氏、村上和雄氏の講演録追加

この度、2003年12月2日に開催いたしました比嘉照夫(琉球大学農学部教授)講演会「奪われし未来から甦る未来」、及び本年3月2日の村上和雄(筑波大学名誉教授)講演会「『笑い』と『感動』はよい遺伝子を目覚めさせる」の講演録が、当財団のホームページに追加されましたので、お知らせいたします。

また、現在、両氏の全講演内容を収めた録音テープも好評発売中です。入手をご希望の方は、電話、ファックスまたは電子メールにて、当財団頒布品係までご注文ください。なお、送料は実費を申し受けております。

<注文先>

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-5 平和第1ビル

財団法人 五井平和財団 頒布品係 宛

TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919 メール info@goipeace.or.jp

* 去る6月2日に開催いたしました水野正人（ミズノ株式会社代表取締役社長）講演会の講演録につきましては、準備が整い次第、ホームページに掲載する予定です。

● 韓国語（朝鮮語）版『生命憲章』、新たに追加

この度、『生命憲章』の韓国語（朝鮮語）版を新たに追加いたしました。現在『生命憲章』は日本語版、英語版を含めて27言語対応となっております。

【編集部だより】

◇水野正人氏の講演会において、「現在でも世界の50ヶ所で戦闘・紛争が続いている」ということを伺い、まずは戦争・紛争を終結させることが第一歩だと思いました。生命倫理の確立、環境蘇生、貧困の撲滅など、恒久平和樹立までの課題は多いことを改めて感じます。 (出口)

◇いつもメルマガをご購読いただきまして、誠に有難うございます。これからもタイムリーな情報の提供に努めて参りますので、宜しく願い申し上げます。

本メルマガに関するご意見やご感想等がございましたら、当編集部までお気軽にご連絡ください。 (中山)

☆☆

第 25 号 (2004 年 05 月 21 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 25 号 ★★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- 「神戸ピースネットフォーラム」開催のご案内 (7 月 11 日)
- 「青少年のための夏休みフォーラム 2004」開催のご案内 (7 月 21 日)
- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」水野正人講演会、参加申込み受付中
- “いちかわ「平和の祭典」”番組放映日程 (テレビ市川およびCS放送)
- 「2004 年度 国際ユース作文コンテスト」作品募集中 (6 月 30 日締切)

☆☆

【WORDS OF WISDOM】新コーナー！

人類共通の悲願をポジティブなメッセージにしたのが『世界人類が平和でありますように』です。そして、その精神を実際の世の中に実現していく理念と原則が『生命憲章』です。今や世界平和は、人類一人一人の意識的でポジティブな言葉と生き方にかかっているのです

あなたの語る一言で人類が変わり、世界が変わるのです。

西園寺昌美

☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 「神戸ピースネットフォーラム」開催のご案内 (7 月 11 日)

五井平和財団では、全国各地の賛助会員の方々に直接お会いし、交流することを目的に、地方「ピースネットフォーラム」を年に数回ずつ開催してゆく運びとなりました。

その第 1 回目として、7 月 11 日 (日)、兵庫県神戸市において、「神戸ピースネットフォーラム」を開催いたします。兵庫県を中心とした関西、山陽・山陰地方ご在住の方々の他、周辺地域の方々にもぜひ多数ご参加いただきたいと思います。これを機会に財団について知っていただきたいという方々も大歓迎です。

<行事の概要>

◇日 時 : 2004 年 7 月 11 日 (水) 14 時~16 時 (開場 13 時)

◇会場 : ラッセホール 2階 ローズサルーン (神戸市中央区中山手通
4-10-8)

* JR線、阪神本線「元町駅」より徒歩 8分

◇プログラム : 地元ボランティア事務局挨拶、財団紹介ビデオ上映、講演
(五井平和財団理事長 西園寺裕夫)、子ども達のメッセージ、
ピースセレモニーなどが予定されています。

◇連絡先 : 「甲陽園グループ」(代表・福岡妙子 電話 : 0798-73-0130)

◇入場料 : 無料

なお、地方「ピースネットフォーラム」は、今後とも全国各地で地元賛助会員のボランティアの方々と共同企画し、開催していく予定です。本年 10 月には「札幌ピースネットフォーラム」、2005 年 1 月には「徳島ピースネットフォーラム」を予定している他、2005 年度以降は、大阪、広島、名古屋、福島、鹿児島、金沢、松本、京都、仙台、青森など各地での開催を計画中です。プログラムは、『生命憲章』を機軸としつつそれぞれの地域の特色を活かした内容、例えば、1) 新しい価値観や意識、生き方を考える講演・シンポジウム、2) 社会一般の平和意識を喚起する参加型のイベントを予定しています。

●「青少年のための夏休みフォーラム 2004」開催のご案内 (7 月 21 日)

五井平和財団では、7 月 21 日 (水)、夏休みを迎える小中学生と保護者を対象に「青少年のための夏休みフォーラム 2004」(主催 : 五井平和財団、後援 : 東京都教育委員会 (予定)) を開催いたします。

子ども達とその家族が、夏休みの自然体験活動をどのように行なえばよいのかを総合的に学びます。外交官からは世界の子どもの夏休みについて、また専門の講師からは天体、海、植物、昆虫とそれぞれの分野から自然との触れ合い方を教えていただきます。(*ただし、本フォーラムは野外活動ではありませんので予めご了承ください。)

このフォーラムを通して、参加者の皆様が、自然との触れ合いから喜びを見出し、自然への感謝へと心に向ける機会としていただければ、自然体験活動を一人の行き方にまで広げて考える契機になると考えております。

多数の親子連れでのご参加を心よりお待ちしております。

<行事の概要>

◇テーマ : 「さあ、夏休みだ! 海へ、山へ、自然の中へ出かけよう!」

◇日時 : 2004 年 7 月 21 日 (水) 午後 1 時~4 時 30 分

◇会場 : 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟
小ホール (東京都渋谷区代々木神園町 3-1)

* (電車の場合) 小田急線「参宮橋駅」より徒歩 7 分、地下鉄

千代田線「代々木公園駅」代々木公園方面出口より徒歩 10 分
* (バスの場合) 京王バスにて、新宿駅西口 (16 番) より代々木
5 丁目下車、渋谷駅西口 (14 番) より 代々木 5 丁目下車

◇プログラム : 第 1 部「世界の子どもの夏の夏休みの過ごし方」

講師)・英国大使館

* 講師は現在調整中。

・アルジェリア大使館広報・文化・領事担当職員
ザイラ・ラムダニ

第 2 部「気軽にはじめる夏休み自然体験活動」

講師)・「夏の海岸を散歩して、見つけよう」

村石健一 (CONE 自然活動指導員、「NPO
法人 パパラギ海と自然の教室」非常勤職員)

・「夏は、樹木と仲よくしよう」

小山文大 (森林インストラクター、NPO 法人
地域パートナーシップ支援センター副理事長)

・「セミの泣き声が聞こえたら、さあ観察開始」

倉地鉄雄 (東京都環境学習リーダー、渋谷区
青少年体験活動支援センター代表)

・「夏の星空を家族で楽しもう」

小野紀之 (東京都環境学習講座講師、自然観察
指導員、NPO 法人 地域パートナーシップ支援
センター理事長)

◇参加費 : 無料

◇申込方法 : 官製ハガキ、ファックス、あるいは電子メールでお申込みくだ
さい。その際、1)住所、2)氏名、3)電話番号、4)参加人数を
ご明記ください。

* 申込者が定員に達し、ご参加いただけない場合のみご連絡いた
します。

◇申込締切 : 2004 年 7 月 12 日 (月) 必着

* 先着順 (定員 350 名)

◇申込先 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-5 平和第 1 ビル
財団法人 五井平和財団「夏休みフォーラム 2004」係 宛
TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919
電子メール info@goipeace.or.jp

●「講演会シリーズ：21世紀の価値観」水野正人講演会、参加申込み受付中

五井平和財団主催の「講演会シリーズ：21世紀の価値観」第4回講演会は6月2日（水）、ミズノ株式会社代表取締役社長で、I O C（国際オリンピック委員会）スポーツ・環境委員会委員、J O C（日本オリンピック委員会）理事などの公職にも就かれている水野正人氏（本財団評議員）を講師にお迎えし、下記の要領で開催いたします。

オリンピック開催年にあたり、オリンピックと地球環境の持続と蘇生に向けた動きについて、実業界、スポーツ界の専門家のお立場からお話を伺います。

現在、参加申込みを受付中です。皆様、どうぞ奮ってご参加ください。

<講演会の概要>

◇テ　　マ：「オリンピックと環境」

◇講　　師：水野正人（みずのまさと）　　ミズノ株式会社代表取締役社長

◇日　　時：2004年6月2日（水）19時～20時30分（開場18時30分）

◇会　　場：銀座ガスホール（東京都中央区銀座7-9-15 6F）

*地下鉄銀座線・丸ノ内線・日比谷線「銀座駅」A3出口より
徒歩5分、J R「新橋駅」銀座口より徒歩8分、J R「有楽町
駅」中央口より徒歩13分。

◇参　加　費：賛助会員1,000円／非会員1,500円

◇申　込　方　法：往復ハガキでお申込みください。

往信の裏面に、1)住所、2)氏名、3)電話番号、4)参加人数を
ご明記ください。

返信の表面に、お申込者の住所と氏名をご記入ください。

注) 返信の裏面は何も記入しないでください。

◇申　込　締　切：2004年5月26日（水）必着

*先着順（定員340名）

◇申　込　先：〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5 平和第1ビル

財団法人 五井平和財団「6月2日講演会」係 宛

TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919

●“いちかわ「平和の祭典」”番組放映日程（テレビ市川およびCS放送）

去る4月24日、市川市文化会館（千葉県市川市）にて開催されました“いちかわ「平和の祭典」”の模様を30分に編集した番組が、テレビ市川（市川市のケーブルテレビ）9チャンネルおよびスカパーフェクトV！（五井平和財団提供CS放送）216チャンネルで放映される予定です。

放映予定は、次の通りです。

<テレビ市川 — 市川ケーブルの9チャンネル>

5月22日(土)～5月28日(金) *毎日3回、合計21回放映

- ・1回目 13時30分～14時
- ・2回目 17時～17時30分
- ・3回目 20時30分～21時

<スカイパーフェクTV! — 216チャンネル>

6月18日(金) *2回放映

- ・1回目 9時～9時30分
- ・2回目 19時30分～20時

●「2004年度 国際ユース作文コンテスト」作品募集中(6月30日締切)

五井平和財団では、国連が定めた「世界の子どもたちのための平和と非暴力の文化の10年(2001年～2010年)」を記念して、「2004年度 国際ユース作文コンテスト」の作品を募集中です。

若い皆様の多数のご応募をお待ちしております。

なお、作品応募の締切りは6月30日(水)必着です。

<本年度テーマ>

人はみんな、それぞれにちがった長所を持っています。あなたの長所は何ですか。あなたは自分自身のどんなところが好きですか。あなたは自分の長所を社会のためにどのように役立てたいと考えていますか。「自分の長所をいかす」というテーマで、自由に書いてください。

【編集部だより】

◇韓国光州特別市で、4月6日、同国初の『生命憲章』講座を開催しました。福祉関係の先生方150名以上がご参加くださり、熱く燃え上がる日韓新時代の幕開けを感じさせるイベントでした。(出口)

◇いよいよ今年の夏のオリンピックは、古代オリンピック発祥の地に戻ります。昨年11月、開催国ギリシャの提案で、今回も国連がいわゆる「五輪停戦決議」を全会一致で採択しましたが、この決議が五輪期間中だけに効力を発揮するのではなく、各国の永久的な平和へのコミットを促すものであって欲しいと心より願っています。来月の水野社長の講演会がとても待ち遠しいです。(中山)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

第 24 号 (2004 年 04 月 16 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 24 号 ★★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 4 回講演会、参加申込み受付中
- 2004 年度 国際ユース作文コンテスト作品募集中
- 新規頒布品のご案内（叢書、講演会録音テープ）
- 第 6 回スコットランド ワールド ピース フェスティバル開催のお知らせ
- 第 14 回アメリア ワールド ピース フェスティバル中止のお知らせ
- World Peace & Prayer Day 2004 Japan (せかいへいわといのりの日)

【生命憲章コラム】

☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 4 回講演会、参加申込み受付中
五井平和財団主催の「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 4 回講演会は 6 月 2 日（水）、ミズノ株式会社代表取締役社長の水野正人氏（本財団評議員）を講師にお迎えし、下記の要領で開催いたします。

現在、参加のお申込みを受付中です。皆様、どうぞ奮ってご参加ください。

<講演会の概要>

- ◇テ ー マ : オリンピックと環境
- ◇講 師 : 水野正人 (みずのまさと)
- ◇日 時 : 2004 年 6 月 2 日 (水) 19 時~20 時 30 分 (開場 18 時 30 分)
- ◇会 場 : 銀座ガスホール (東京都中央区銀座 7-9-15 6F)
* 地下鉄銀座線・丸ノ内線・日比谷線「銀座駅」A3 出口より
徒歩 5 分、JR「新橋駅」銀座口より徒歩 8 分、JR「有楽町
駅」中央口より徒歩 13 分。
- ◇参 加 費 : 賛助会員 1,000 円 / 非会員 1,500 円
- ◇申 込 方 法 : 往復ハガキでお申込みください。
往信の裏面に、1) 住所、2) 氏名、3) 電話番号、4) 参加人数を
ご記入ください。
返信の表面に、お申込者の住所と氏名をご記入ください。

◇申 込 締 切 : 2004 年 5 月 26 日 (水) 必着

* 先着順 (定員 340 名)

◇申 込 先 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-5 平和第 1 ビル

財団法人 五井平和財団「6 月 2 日 講演会」係 宛

TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919

● 2004 年度 国際ユース作文コンテスト作品募集中

五井平和財団では、国連が定めた「世界の子どもたちのための平和と非暴力の文化の 10 年 (2001 年~2010 年)」を記念して、「2004 年度 国際ユース作文コンテスト」の作品を募集中です。

若い皆様の多数のご応募をお待ちしております。

なお、作品応募の締切りは 6 月 30 日 (水) 必着です。

<本年度テーマ>

人はみんな、それぞれにちがった長所を持っています。あなたの長所は何ですか。あなたは自分自身のどんなところが好きですか。あなたは自分の長所を社会のためにどのように役立てたいと考えていますか。「自分の長所をいかず」というテーマで、自由に書いてください。

● 新規頒布品のご案内 (叢書、講演会録音テープ)

この度、五井平和財団では、『国際ユース作文コンテスト選集 2003 年度』(日英対訳版)、及び去る 3 月 2 日に開催いたしました「講演会シリーズ: 21 世紀の価値観」第 3 回講演会 (講師・村上和雄筑波大学名誉教授) 録音テープの頒布を開始いたしました。

(1) 『国際ユース作文コンテスト選集 2003 年度』(日英対訳版)

2003 年度国際ユース作文コンテストの上位入賞作品全 6 点 (文部科学大臣奨励賞各部門 1 点、優秀賞各部門 2 点)、受賞者名一覧表等が日本語と英語のバイリンガル表記で収録されています。世界 109 ヶ国 5,254 点の応募作品の中から選ばれた子どもや若者達の感性豊かな 6 作品を、どうぞお楽しみください。

* 頒布価格: 1 部 300 円 (税込)

(2) 「講演会シリーズ: 21 世紀の価値観」第 3 回講演会録音テープ

遺伝子工学の世界的権威である村上和雄筑波大学名誉教授による、「笑い」と「感動」はよい遺伝子を目覚めさせる、と題する講演会、及び映画「ガイアシンフォニー」の龍村仁監督とのトークセッションの様子が収められています。

村上教授のユーモア溢れるお話と龍村監督との軽妙で愉快的なトークを、ぜひ

お楽しみください。

* 頒布価格：1本1,000円（税込）

また、第1回講演会「宇宙のひとかけらとしての私たち」（講師＝佐治晴夫 宮城大学教授）、及び第2回講演会「奪われし未来から甦る未来」（講師＝比嘉 照夫琉球大学教授）の録音テープも、現在、好評頒布中です。

上記、頒布品をご希望の方は、電話、ファックスまたは電子メールにて、当財団頒布品係までご注文ください。なお、送料は実費を申し受けております。

<注文先>

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-5 平和第1ビル

財団法人 五井平和財団 頒布品係 宛

TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919 メール info@goipeace.or.jp

● 第6回スコットランド ワールド ピース フェスティバル開催のお知らせ
来る6月19日（土）、五井平和財団の姉妹団体であるワールド ピース プレイヤー ソサエティのアラントン・サンクチュアリ（英国スコットランド）にて、恒例の年次行事が開催されます。

皆様、お誘い合わせの上、どうぞ奮ってご参加ください。

<行事の概要>

○会場：ワールド ピース プレイヤー ソサエティ

アラントン・サンクチュアリ（スコットランド・ダンフリーズ州）

○日時：2004年6月19日（土）14時～17時30分

* フラッグセレモニー（メイン）：16時～17時30分

（日本時間20日0時～1時30分）

○テーマ：「平和の友よ世界中から来たれ、そして国旗や民族衣装とともに
ピースデーを祝いましょう」

○出展ブース：ラビリンス（スピリチュアル迷路）、国旗フェイス・ペイン
ティング、ピースゲーム、生バンド（複数出演）、日本文化
紹介等。

参加費は無料です。また、会場内には、アフタヌーンティー（14時～16時）
や夕食（17時30分～20時30分）のブースが出店され、簡単な飲食物をお求め
いただくことができます。19時30分～23時30分には、ケーリー（地元の風習に
則った夏のダンスパーティー）も開かれる予定です。

● 第14回アメニア ワールド ピース フェスティバル中止のお知らせ

9月19日に開催が予定されていましたが第14回アメニア ワールド ピース フェス

ティバルにつきましては、現地の事情により中止となりました。代替イベントは行ないません。既に参加の計画を進めておられた皆様には、ご迷惑をお掛けいたしますことをお詫び申し上げます。

● World Peace & Prayer Day 2004 Japan (せかいへいわといのりの日)

本年6月19日(土)から21日(月)の3日間、富士山・朝霧高原において、ワールドピース & プレイヤーデー(せかいへいわといのりの日)が開催されます。

本行事は、1996年以来、北米先住民の指導者の一人、チーフ・アーボル・ルッキングホース氏(姉妹団体ワールドピースプレイヤーソサエティ創設時の顧問)による「地球の癒しと世界平和のために、国や民族、宗教の違いを超えて、心を一つに大きな輪をつくろう」という呼びかけに応じて、アイルランド(2001年)や南アフリカ(2002年)、オーストラリア(2003年)など世界各地で開催されてきたものです。

期間中はさまざまなプログラムが企画されています。

<行事の概要>

○会場：静岡県立朝霧野外活動センター(静岡県富士宮市根原1番地)
／電話 054-452-0321)

○日時：

6月19日(土) 国際シンポジウム：大地と共生の哲学
ストーリーテリング

6月20日(日) 馬の行進
大地を讃える音楽と踊りの祭典
大地と共生する生活術フェア

6月21日(月) セレモニー(参加者全員が大地の上に大きな輪を作り
地球への感謝の思いを一つにして祈ります)

参加費は無料です。どうぞ奮ってご参加ください。

プログラム等、より詳細な情報や会場までの行き方、宿泊情報等につきましては、直接、下記主催者までお問合せください。同ウェブサイトもご参照いただけます。

<World Peace & Prayer Day 2004 Japan 実行委員会>

大阪市福島区福島 6-10-14-301

メール contact@wppd2004.org / FAX 06-6453-0549

【生命憲章コラム】

先日、外務省とユニセフ（国連児童基金）が共催で行なった「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」批准10周年記念シンポジウムに出席してきました。

このシンポジウムの趣旨は「少年犯罪、児童虐待、いじめなど、子どもを巡る問題が深刻している現状を踏まえて、子どもの権利条約の意義と精神を広く伝えると同時に、親子関係や子どもと大人の関係のあり方や子どもを受け入れる社会の態勢などについて話し合う」とのことでした。実際、最近のマスコミ報道では、児童虐待のニュースが頻繁に取り上げられています。また、世界に目を転じてみても、紛争地域における少年兵問題や、児童労働、子どもに対する性的搾取など問題が、子どもの尊厳を踏みにじる行為として大問題になっています。そういう観点からも、いろいろと参考になる話を聴くことができました。

パネリストの一人、高橋重宏・日本社会事業大学教授によると、現在、日本では約3万人の児童が児童養護施設に入所しており、その内の半数以上は家庭で、自分の親から虐待を受けた子ども達だそうです。高橋教授は、養護施設が元々孤児院として、親の死亡などの理由でやむを得ず入所する子ども達を受け入れていた頃と比べると状況は大きく変わった、と指摘していました。

プログラムの中盤、テレビドラマ『僕と彼女と彼女の生きる道』で父親役を演じた俳優の草薙剛さん（SMAPメンバー）による特別講演会がありました。冒頭、上映されたドラマの一場面の中で、父親役の草薙さんは娘の無邪気に遊ぶ姿を見て「娘が笑っている。俺はただそれだけで幸せだ」とつぶやきました。我々親達一人一人がこの当たり前とも言える親子関係の原点に立ち返ることができれば、もはや子ども達の苦悩は存在しないはずです。

草薙さんは、最後に「僕自身、幸せの良い連鎖を周りに広げていきたい」と締めくくりましたが、まさにこの意識を持つことは個人としての平和創造活動の第一歩と言えるのではないのでしょうか。

（中山 樹）

【編集部だより】

◇韓国光州広域市でアジア初の『生命憲章』講座を行ないました。福祉関係の若手リーダー達150名が参加してくださり、逐次通訳付の場内は、盛大な活気に包まれ、アジアが心一つにまとまってゆくような予感がしました。（出口）
◇3名の人質解放の知らせにまずはホッとしました。しかし、イラクでは依然と

して、ほぼ毎日のように尊い生命が危険にさらされ、失われています。真の平和
実現に向けた課題が、私達一人一人に与えられているように思います。(中山)

☆☆

第 23 号 (2004 年 03 月 11 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 23 号 ★★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- いちかわ「平和の祭典」開催のお知らせ (4 月 24 日)
- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 4 回開催のお知らせ (6 月 2 日)
- 2004 年度 国際ユース作文コンテスト作品募集中
- 2003 年度 国際ユース作文コンテスト入選作品テキスト (新たに追加)

【生命憲章コラム】

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- いちかわ「平和の祭典」開催のお知らせ (4 月 24 日)

五井平和財団では、4 月 24 日 (土) 14 時～16 時 (開場 13 時)、千葉県の市川市文化会館大ホールにおきまして、いちかわ「平和の祭典」を開催いたします。この行事では平和で豊かなまちづくりを目指す市川市から「地球の未来のために何かをしよう」と世界に向けて呼びかけを行ないます。

共催は、財団法人 市川市文化振興財団、いちかわ「平和の祭典」を推進する会、及び市川市ユネスコ協会。後援は、市川市、市川市教育委員会、市川市商工会議所、市川ロータリークラブ、市川東ロータリークラブ、市川南ロータリークラブ、市川シビックロータリークラブ、市川ライオンズクラブ、下総中山ライオンズクラブ、行徳ライオンズクラブ、市川北ライオンズクラブ、市川美術会、市川青年会議所、いちかわケーブルネットワーク株式会社、及び市川市国際交流協会。協賛は、月刊いちかわ、特定非営利活動法人 いちかわ市民文化ネットワーク、及びヤマハエレクトーンシティ渋谷、です。

本行事のプログラムは、千葉県知事、市川市長、当財団会長、同理事長からのご挨拶のほか、『生命憲章』を地球の未来を担う子どもたちが語る「子どもたちのメッセージ」、「世界各国の平和を祈るフラッグセレモニー」や、中国出身で市川市在住の国際的アーティスト、サイ・イエングアン (崔岩光) によるワールド・ピース・コンサートなど、盛り沢山の内容となっています。

入場は無料。ただし、ご入場の際には「入場券」が必要となります。

入場券は下記のいずれかの方法でご入手いただけます。座席数が限られており

ますので、お早めにお申しください。

(1) 市川市文化会館（市川市大和田 1-1-5）の窓口で直接入手いただけます。

(2) 五井平和財団でも取扱っています。

(2)の場合は、住所・氏名・電話番号・希望枚数をご明記の上、ハガキ、ファックス、E-mail のいずれかでお申し込みください。入場券を郵送いたします。

<チケットお申込先>

財団法人 五井平和財団 いちかわ「平和の祭典」係

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-5 平和第 1 ビル

FAX: 03-3239-0919 メール: info@goipeace.or.jp

なお、定員になり次第、締切とさせていただきます。

●「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 4 回開催のお知らせ（6 月 2 日）

五井平和財団では、現在、3 ヶ月に一度のペースで、科学、教育、芸術、外交など様々な分野で深い洞察力を発揮し、人類の正しい方向性を見据えながら活動・研究されている講師をお招きして「21 世紀の価値観」と題した講演会シリーズを開催しています。私たち一人一人が地球生命共同体の一員として、21 世紀に真に調和した世界を築いていくために必要な新しい価値観や意識、生き方について共に学んでいきます。

第 4 回講演会は、6 月 2 日（水）19 時～20 時 30 分（開場 18 時 30 分）、銀座ガスホール（東京都中央区銀座 7-9-15 6F）にて、ミズノ株式会社代表取締役社長の水野正人氏（本財団評議員）を講師にお迎えし、下記の要領で開催いたします。

講演のテーマは「オリンピックと環境」です。

皆様、どうぞ奮ってご参加ください

<講演会の概要>

◇テ　　マ　：オリンピックと環境

◇講　　師　：水野正人（みずのまさと）

◇日　　時　：平成 16 年 6 月 2 日（水）　19 時～20 時 30 分（開場 18 時 30 分）

◇会　　場　：銀座ガスホール（東京都中央区銀座 7-9-15 6F）

* 地下鉄銀座線・丸ノ内線・日比谷線「銀座駅」A3 出口より徒歩 5 分、JR「新橋駅」銀座口より徒歩 8 分、JR「有楽町駅」中央口より徒歩 13 分。

◇参　加　費　：賛助会員 1,000 円／非会員 1,500 円

◇申　込　方　法　：往復ハガキでお申し込みください。

往信の裏面に、1)住所、2)氏名、3)電話番号、4)参加人数をご記入ください。

返信の表面に、お申込者の住所と氏名をご記入ください。

◇申 込 締 切 : 平成 16 年 5 月 26 日 (水) 必着

* 先着順 (定員 340 名)

◇申 込 先 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-5 平和第 1 ビル

財団法人 五井平和財団「6 月 2 日 講演会」係 宛

TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919

● 2004 年度 国際ユース作文コンテスト作品募集中

五井平和財団では、国連が定めた「世界の子どもたちのための平和と非暴力の文化の 10 年 (2001 年~2010 年)」を記念して、「2004 年度 国際ユース作文コンテスト」の作品を募集中です。

若い皆様の多数のご応募をお待ちしております。

なお、作品応募の締切りは 6 月 30 日 (水) 必着です。

<本年度テーマ>

人はみんな、それぞれにちがった長所を持っています。あなたの長所は何ですか。あなたは自分自身のどんなところが好きですか。あなたは自分の長所を社会のためにどのように役立てたいと考えていますか。「自分の長所をいかす」というテーマで、自由に書いてください。

● 2003 年度 国際ユース作文コンテスト入選作品テキスト (新たに追加)

前回の受賞者発表の際に、「文部科学大臣奨励賞」受賞作品 2 点、及び「優秀賞」受賞作品 4 点のテキストを公表しておりましたが、この度、新たに入選作品 10 点 (子どもの部、若者の部各 5 点) のテキストを追加いたしました。これをもちまして、上位入賞の全 16 作品の日本語及び英語のテキストが出揃いました。

是非、この機会に、世界各国の子どもや若者達の未来ビジョンに触れてみてください。

【生命憲章コラム】

現在、五井平和財団では、平和教育プログラムの一環として、58 カ国の駐日大使館のご協力を得ながら、現職の外交官に実際に学校や地域の場で国際理解学習の先生を務めていただく、「駐日外交官による交流プロジェクト」を日本各地で展開しています。

2001 年 10 月のプロジェクト開始以来、合計 30 回にわたって、延べ 43 ヶ国 45 名の外交官の方々にご登場いただきました。驚くべきことに、これまで、子ども達を中心に、延べ 6,000 名ぐらいの人々が外交官講師との交流学习会に参加した計算

第 22 号 (2004 年 01 月 30 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 22 号 ★★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- 2004 年度 国際ユース作文コンテスト募集要項
- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 3 回開催のお知らせ (3 月 2 日)
- 国連人権高等弁務官事務所 (OHCHR) にピースポール贈呈
- 第 6 回 国際ピースパル・ピースカード・コンテスト結果発表
- ラズロ博士・西園寺昌美共著 (英語版) 好評発売中

【生命憲章コラム】

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 2004 年度 国際ユース作文コンテスト募集要項

五井平和財団では、国連が定めた「世界の子どもたちのための平和と非暴力の文化の 10 年 (2001 年～2010 年)」を記念して、今回で第 5 回となる「2004 年度国際ユース作文コンテスト」の募集を開始いたしました。

若い皆様の多数のご応募をお待ちしております。

応募締切りは 6 月 30 日 (水) 必着です。

<本年度テーマ>

人はみんな、それぞれにちがった長所を持っています。あなたの長所は何ですか。あなたは自分自身のどんなところが好きですか。あなたは自分の長所を社会のためにどのように役立てたいと考えていますか。「自分の長所をいかす」というテーマで、自由に書いてください。

- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 3 回開催のお知らせ (3 月 2 日)

五井平和財団では、現在、3 ヶ月に一度のペースで、科学、教育、芸術、外交など様々な分野で深い洞察力を発揮し、人類の正しい方向性を見据えながら活動・研究されている講師をお招きして「21 世紀の価値観」と題した講演会シリーズを開催しています。私たち一人一人が地球生命共同体の一員として、21 世紀に真に調和した世界を築いていくために必要な新しい価値観や意識、生き方について共に学んでいきます。

第3回目は、3月2日（火）18時30分～20時（開場18時）、JAホール（東京都千代田区大手町1-8-3）にて、遺伝子工学の世界的権威である村上和雄筑波大学名誉教授（本財団理事）を講師にお迎えし、下記の要領で開催いたします。また今回は、講演会の後半に映画「ガイアシンフォニー」の龍村仁監督（本財団評議員）を交えたトークセッションも行います。

残席数も限られてきましたので、参加ご希望の方は、どうぞお早めにお申込みください。

<講演会の概要>

◇テーマ：「笑い」と「感動」はよい遺伝子を目覚めさせる

◇講師：村上和雄（むらかみかずお）

◇特別ゲスト：龍村仁（たつむらじん）

◇日時：平成16年3月2日（火）18時30分～20時（開場18時）

◇会場：JAホール（東京都千代田区大手町1-8-3 JAビル）

*地下鉄丸の内線・半蔵門線「大手町駅」A3出口直結／同千代田線・都営三田線「大手町駅」C1出口徒歩2分／同東西線「大手町駅」徒歩5分／JR線「東京駅」丸の内北口徒歩10分

◇参加費：賛助会員1,000円／非会員1,500円

◇申込方法：往復ハガキでお申込みください。

往信の裏面に、1)住所、2)氏名、3)電話番号、4)参加人数をご記入ください。

返信の表面に、お申込者の住所と氏名をご記入ください。

注) 返信の裏面は何も記入しないでください。

◇申込締切：平成16年2月24日（火）必着

*先着順（定員450名）

◇申込先：〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5 平和第1ビル

財団法人 五井平和財団「3月2日講演会」係 宛

TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919

● 国連人権高等弁務官事務所（OHCHR）にピースポール贈呈

世界人権宣言採択55周年を祝う国連人権デー（2003年12月10日）を記念して、スイス・ジュネーブにある国連人権高等弁務官事務所（OHCHR）において、ピースポールの贈呈式が行われました。

ピースポールは、当財団の西園寺裕夫理事長より、国連人権高等弁務官代理のバーナード・ラムチャラン氏に直接手渡されました。

● 第6回 国際ピースパル・ピースカード・コンテスト結果発表

11月14日、第6回 国際ピースパル・ピースカード・コンテストの結果が発表されました。

コンテスト開催地のワールドピースプレイヤーソサエティ（当財団の姉妹団体）アラントン・サンクチュアリには、32カ国から3000通を超える応募作品が寄せられ、その中から、年齢別の3部門で優秀作品が3点ずつ選ばれました。地元ダンフリーズ市からも32校が参加しました。

「すべての生命との調和」が実現した世界が描かれた作品の数々は、子どもたちの未来に対する想いが反映されており、とても意識と技術のレベルが高いコンテストになりました。なお、受賞作品は、同15日から21日までアラントンサンクチュアリにて展示されました。

● ラズロ博士・西園寺昌美共著（英語版）好評発売中

世界中で反響を巻き起こしている、西園寺昌美当財団会長とアーヴィン・ラズロ博士（ブタペスト・クラブ創設者および総長）の英文共著『You Can Change The World』を好評発売中です。なお、本著にはミハイル・ゴルバチョフ氏（旧ソビエト連邦元大統領）およびパウロ・コエリョ氏（世界的作家）の特別寄稿も収められています。定価2,100円（税込み）。外国の方への贈呈に最適です。

ご希望の方は、電話、ファックスまたは電子メールにて、当財団頒布品係までご注文ください。また、当財団のウェブサイト上で直接ご注文いただくことも可能です。詳しくは、次のサイトをご覧ください。

<五井平和財団 頒布品係>

電話：03-3265-2071

ファックス：03-3239-0919

メール：info@goipeace.or.jp

【生命憲章コラム】

今月25日、旧ソ連のグルジアでミハイル・サアカシビリ大統領が誕生した。弱冠36歳ながら、約500万人の国民を率いる一国の指導者である。もちろんサアカシビリ大統領の真価が問われるのは今後の政治運営の手腕次第であろうが、ともかく彼が若い世代による新たな国造りの象徴的存在であることは否定しようのない事実である。これはグルジアにとっても、世界にとっても、まさに明るい兆しと言えよう。

グルジアといえば、当財団が毎年行っている「国際ユース作文コンテスト」の

第2回（2001年度）コンテストにおいて、首都トビリシ市出身の19歳の大学生ケテェヴァン・カンデラキさんの作文が最優秀作品に選ばれ、同年10月に本人が授賞式出席のため来日し、文部科学大臣奨励賞を受賞したことを思い出す。

ケテェヴァンさんは、『私の夢はきっと叶う』と題した受賞作文の中で、内戦の影響で荒廃し切ったトビリシの街に育ちながらも、明るい未来を信じ続けた体験から、「私は大人になったら世界を良くしてみせる」と自らの希望を述べていた。その「明るい未来」が今や現実のものになろうとしている。更に、作文の後半では、「新たな歴史を生きる私達の世代は、心に平和、世界に調和をもたらします」と述べているが、これは決して夢物語には終わらないであろう。なぜならば、この言葉は彼女の強い決意に裏付けられているからである。

「生命憲章」では、平和創造の担い手としての子どもや若者の果たすべき役割の重要性が謳われている。私も、グルジアをはじめ様々な厳しい状況に置かれた若い世代からのメッセージに触れるにつけ、自分を含む日本の若者たちも、いかに厳しい現実と直面しようとも、決して絶望したり自暴自棄に陥ったりすることなく、常に「明るい未来」を築いていくための努力を重ねてゆかねばならないのだ、と改めて痛感させられた。

今年も、五井平和財団では「2004年度国際ユース作文コンテスト」を主催し、世界の若い人々の作品を募集する。今回もきっと世界中からたくさんの素晴らしい作品が寄せられるであろう。私も、担当者の一人として、ケテェヴァンさんの例のように未来志向の作品に数多く出会えることを、今から心待ちにしている。

（中山 樹）

【編集部だより】

◇最近、様々なピースミュージックに触れて感動しています。科学でも、芸術でも、文化でも、そこにある真、善、美を精神面と知識面の両方から探求するのが必要なのだとつくづく感じています。 （出口）

◇次回講演会の講師として、村上和雄筑波大学名誉教授が再登場です。昨年、「笑い」と遺伝子の関係を解明するため、吉本興業とのコラボレーションを果たされた村上先生の口からは、一体どんな面白いお話が飛び出すのでしょうか。

（中山）

☆☆

第 21 号 (2004 年 01 月 09 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 21 号 ★★★★★★★★★★★★

新年明けましておめでとうございます。本年もメールマガジン『平和の創造』
をご愛読くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

【HEADLINE】

- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 3 回講演会のご案内
- 2003 年度五井平和財団フォーラムの記録ビデオ頒布開始のお知らせ
- ラズロ博士・西園寺昌美共著（英語版）好評発売中
- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」録音テープ頒布中

【生命憲章コラム】新コーナーのご紹介

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 3 回講演会のご案内

五井平和財団では、現在、3 ヶ月に一度のペースで、科学、教育、芸術、外交
など様々な分野で深い洞察力を発揮し、人類の正しい方向性を見据えながら活動
・研究されている講師をお招きして「21 世紀の価値観」と題した講演会シリーズ
を開催しています。私たち一人一人が地球生命共同体の一員として、21 世紀に
真に調和した世界を築いていくために必要な新しい価値観や意識、生き方に
ついて共に学んでいきます。

第 3 回目は、3 月 2 日（火）18 時 30 分～20 時（開場 18 時）、J A ホール（東京都
千代田区大手町 1-8-3）にて、遺伝子工学の世界的権威である村上和雄筑波大学
名誉教授（本財団理事）を講師にお迎えし、下記の要領で開催いたします。また
今回は、講演会の後半に映画「ガイアシンフォニー」の龍村仁監督（本財団評議
員）を交えたトークセッションも行います。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

<講演会の概要>

- ◇テ マ : 「笑い」と「感動」はよい遺伝子を目覚めさせる
- ◇講 師 : 村上和雄（むらかみかずお）
- ◇特別ゲスト : 龍村仁（たつむらじん）

- ◇日 時 : 平成 16 年 3 月 2 日 (火) 18 時 30 分~20 時 (開場 18 時)
- ◇会 場 : J A ホール (東京都千代田区大手町 1-8-3 J A ビル)
- * 地下鉄丸の内線・半蔵門線「大手町駅」A3 出口直結/同千代田線・都営三田線「大手町駅」C1 出口徒歩 2 分/同東西線「大手町駅」徒歩 5 分/J R 線「東京駅」丸の内北口徒歩 10 分
- ◇参 加 費 : 賛助会員 1,000 円/非会員 1,500 円
- ◇申 込 方 法 : 往復ハガキでお申込みください。
- 往信の裏面に、1)住所、2)氏名、3)電話番号、4)参加人数をご記入ください。
- 返信の表面に、お申込者の住所と氏名をご記入ください。
- 注) 返信の裏面は何も記入しないでください。
- ◇申 込 締 切 : 平成 16 年 2 月 24 日 (火) 必着
- * 先着順 (定員 450 名)
- ◇申 込 先 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-5 平和第 1 ビル
財団法人 五井平和財団「3 月 2 日 講演会」係 宛
TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919

● 2003 年度五井平和財団フォーラムの記録ビデオ頒布開始のお知らせ

昨年 10 月 19 日 (日)、昭和女子大学人見記念講堂 (東京都世田谷区) にて行われた、2003 年度五井平和財団フォーラム「平和ビジョンの実現に向けて」の様相を収めた記録ビデオを頒布中です。

第 4 回五井平和賞および「平和の文化」特別賞受賞記念講演、若者からのメッセージ (「国際ユース作文コンテスト」受賞作品発表)、世界各国の平和を祈るフラッグセレモニー、世界の楽器の響宴など、すべてのプログラムが網羅されています。

定価は日本語版・英語版共に各 1,000 円 (税込み)、収録時間は 2 時間半です。

ご希望の方は、電話、ファックスまたは電子メールにて、当財団頒布品係までご注文ください。なお、送料は実費を申し受けております。

<五井平和財団 頒布品係>

電 話 : 03-3265-2071

ファックス : 03-3239-0919

メー ル : info@goipeace.or.jp

● ラズロ博士・西園寺昌美共著 (英語版) 好評発売中

世界中で反響を巻き起こしている、西園寺昌美当財団会長とアーヴィン・ラズロ博士 (ブタペスト・クラブ創設者および総長) の英文共著『You Can Change

The World』を好評発売中です。なお、本著にはミハイル・ゴルバチョフ氏（旧ソビエト連邦初代大統領）およびパウロ・コエリョ氏（世界的作家）の特別寄稿も収められています。定価 2,100 円（税込み）。外国の方への贈呈に最適です。

ご希望の方は、電話、ファックスまたは電子メールにて、当財団頒布品係までご注文ください。なお、送料は実費を申し受けております。

●「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」録音テープ頒布中

9 月 2 日より五井平和財団主催「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」が始まりました。毎回の講演会の内容を収録・編集したカセットテープを 1 本 1,000 円（税込み）で頒布いたしております。

ご希望の方は、電話、ファックスまたは電子メールにて、当財団頒布品係までご注文ください。なお、送料は実費を申し受けております。

<第 1 回目>9 月 2 日開催

「宇宙のひとかけらとしての私たち」

講師＝佐治晴夫

* 頒布中

<第 2 回目>12 月 2 日開催

「奪われし未来から甦る未来」

講師＝比嘉照夫

* 1 月下旬に頒布開始予定（予約受付中）

【生命憲章コラム】新コーナーのご紹介

いよいよ『生命憲章』の理念を具体的な形で実行する時代へと突入しました。今日の世の中を眺めてみると、20 世紀型の価値観や倫理観の矛盾や限界を感じ、平和な世界の実現に向けて、既に自分の置かれた立場で取り組みを開始している人々が現れてきています。また、人々の意識変革を促すための活動も様々な形で行われつつあります。

本コラムでは、今後、こうした平和の創造に向けたポジティブ潮流を、『生命憲章』の精神に照らしながら随時お伝えしていく予定です。



「2004年の幕開けにあたって」

出口 隆之（五井平和財団業務担当ディレクター）

明けましておめでとうございます。

21世紀、人類は価値観について大きな変革を迫られているようです。

20世紀までのように対立し力で解決するという手法が通用しづらくなってきており、平和的で調和した解決がすべてに求められているように感じられます。例えば、意見や文化が異なる場合には、対話を重視して相互理解を推進しみんなが納得できるポジティブな解決を図ることが尊いのだ、と考えられるようになってきていると思われるのです。別の言葉でいえば、個人の尊厳、心、気持ち、命を大切にするという価値観が人類の基本的な合意となりつつあるのだと思います。この価値観が社会の仕組みに反映されれば、「人間が大切にされる社会」「みんなが個性を発揮しつつ調和して仲良く生き生きと生きられる社会」が実現するのだと思います。

古い価値観とは、序列、格付け、順位などが重んじられるいわば所属母体、組織が権威を持つような価値観だと思います。そこでは、序列、格付け、順位などが重んじられ、上下、強弱、貧富、優劣、貴賤、所有の多寡、富裕の度合いなどが重要な意味を持っていました。そうした価値観のもとでは、人々はどこまでも競争と対立を続けることが強いられてきたのではないのでしょうか。せめて外面だけでも世間体良くということで見栄、虚飾などもはびこったのもこうした価値観のもたらしたものだと思います。

さて、最近様々なニュースを見ていますと、新しい価値観に基づいた各種の社会情勢の胎動があらゆる分野で始まっているように思います。たとえ主張や視点が理論的に正しい場合でさえも、対処法として競争的、対立的なものを選択してしまうと、その選択をした個人や団体は次第に人々から相手にされなくなり、この世界に存在することを許されなくなるという実例が様々な分野で見受けられます。そうした場合、価値観の新旧はソフトウェアの問題ですので、実は古い考え方、言葉、行為を改めさえすればすべては解決するのです。古い価値観にしがみついて、その結果地球や人類を滅ぼしてしまう必要はないわけです。

そのためにも、私たちは『生命憲章』の精神を価値観の規準として進んでいくことをお薦めしているわけであります。

【編集部だより】

◇改めまして、新年明けましておめでとうございます。

『生命憲章』コラムが登場するまでになってきましたのも、皆様のおかげで
ご理解、ご協力の賜物です。本年も宜しくお願いいたします。 (出口)

◇新年明けましておめでとうございます。

今年の本メールマガジンの創刊から3年目に当たります。当編集部では、皆様
のお役に立てる情報を、これからも出来る限り迅速にお伝えして参りたいと思
います。なお、今回ご紹介いたしましたビデオやテープは、当日行事にご出席
いただけなかった方にも十分臨場感が伝わる内容となっておりますので、是非
ご活用ください。今年も引き続き、宜しくお願い申し上げます。 (中山)

☆☆

第 20 号 (2003 年 11 月 25 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 20 号 ★★★★★★★★★★★★

【緊急告知】配信サービス移行のお知らせとお願い

【HEADLINE】

- 2003 年度五井平和財団フォーラム開催報告
- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 2 回講演会のご案内
- ラズロ博士・西園寺昌美共著（英語版）発行のお知らせ
- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」録音テープ頒布のお知らせ

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【緊急告知】配信サービス移行のお知らせとお願い

愛読者の皆様へ

いつも五井平和財団メールマガジン『平和の創造』をご愛読いただきまして、誠にありがとうございます。

この度、このメールマガジンの配信会社であった「Pubzine」社より、2004 年 2 月 9 日をもって全てのメールマガジン配信サービスを終了する旨の通告を受けました。

つきましては、メールマガジン『平和の創造』第 21 号（2003 年 12 月発行予定）以降も『平和の創造』を継続してご購読いただくためには、ご愛読者各位に下記の要領で新たに購読のお申込手続きを行っていただきますよう、ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

<手続き>

2003 年 11 月 25 日（火）より可能

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

● 2003年度五井平和財団フォーラム開催報告

2003年10月19日、東京・三軒茶屋の昭和女子大学人見記念講堂において五井平和財団主催、文部科学省、国連大学後援の「2003年度五井平和財団フォーラム～平和ビジョンの実現に向けて～」が開催されました。

この不透明な時代にあって、世界はいま“平和を望む”から“平和のために何かをしよう”という人々の意識の力、ピープルパワーによって変わろうとしています。このフォーラムでは、平和の創造の第一線で活躍されてきた方々、そして未来を担う若者達と共に、私たち一人一人がどのように世界に関わっていくかを考え、またセレモニーや音楽を通して、平和の文化のモデルが表現されました。

会場には各国大使、様々な分野で平和に向けて活動されている個人ならびに団体の代表者など約1,500人が参加されました。

● 「講演会シリーズ：21世紀の価値観」第2回講演会のご案内

シリーズ2回目は12月2日（火）19時～20時30分（開場18時30分）、JAホール（東京都千代田区大手町1-8-3）にて、琉球大学農学部の比嘉照夫教授を講師にお迎えしお話しいただく予定です。講演テーマは「奪われし未来から甦る未来」です。

<行事の概要>

◇日時：12月2日（火） 19時～20時30分（開場18時30分）

◇会場：JAホール（東京都千代田区大手町1-8-3 JAビル）

*地下鉄丸の内線・半蔵門線「大手町駅」A3出口直結／地下鉄千代田線・都営三田線「大手町駅」C1出口徒歩2分／地下鉄東西線「大手町駅」徒歩5分／JR「東京駅」丸の内北口徒歩10分

◇参加費：賛助会員1,000円／一般1,500円

◇申込方法：現行の往復ハガキによるお申込みは、11月25日をもって締め切りでしたが、今回座席に余裕がありますので、12月1日（月）まで、お電話（03-3265-2071）によるお申込みを受け付けいたします。

◇申込先：〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5 平和第1ビル
財団法人 五井平和財団 「12月2日 講演会」係 宛
お問合せ：TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919

● ラズロ博士・西園寺昌美共著（英語版）発行のお知らせ

この度、第2回（2001年度）五井平和賞受賞者のアーヴィン・ラズロ博士（ブタベスト・クラブ創設者および総長）と当財団の西園寺昌美会長の共著

『You Can Change The World』が、米国の SelectBooks 社より発行されました。

本書は、2002 年 11 月に発行された『あなたは世界を変えられる』（河出書房新社刊）の英語版です。定価は 2,100 円（税込み）。ご希望の方は、電話またはファックスにて、当財団頒布品係までご注文ください。なお、送料は実費を申し受けております。

<五井平和財団 頒布品係>

電 話 : 03-3265-2071 ファックス : 03-3239-0919

●「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」録音テープ頒布のお知らせ

9 月 2 日より五井平和財団主催「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」3 カ月に 1 回の間隔で始まりました。

毎回の講演会の内容を収録・編集したカセットテープを 1 本 1,000 円で頒布いたしております。

ご希望の方は、「講演会テープ希望」と明記の上、講演会名（第何回目、または開催日・講師名など）と必要本数を書き添えて、ファックス（03-3239-0919）等で「財団テープ係」までご注文ください。なお、送料は実費を申し受けております。

<第 1 回>11 月 18 日発売

「宇宙のひとかけらとしての私たち」

講師＝佐治晴夫（9 月 2 日開催）

【編集部だより】

◇『生命憲章』の 4 つの原則のすべてを満たすということが、これからの人類がビジョンや方針を採用する際の最低限の基準です。『生命憲章』にあるような世界の実現が待たれます。 (出口)

◇冒頭の「緊急告知」にてお伝えいたしました通り、配信サービスの変更に伴う読者登録の手続き等で皆様には大変お手数をお掛けいたしますが、引き続きご購入を賜りますよう、何卒宜しく願い申し上げます。 (中山)

☆☆

第 19 号 (2003 年 10 月 01 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 19 号 ★★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- 年次行事「2003 年度 五井平和財団フォーラム」チケット発売中！
- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 2 回講演会のご案内
- 2003 年度 国際ユース作文コンテスト、受賞者発表！
- 若者たちの集い「夢を語り合おう！」参加者募集のお知らせ

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 年次行事「2003 年度 五井平和財団フォーラム」チケット発売中！
10 月 19 日、昭和女子大学人見記念講堂にて、本年度の当財団年次行事が開催されます。今年のテーマは「平和ビジョンの実現に向けて」です。
私たち一人一人が出来る平和への貢献とは何か、共に考えて参りましょう。
多数のご参加をお待ちしております。

2003 年度 五井平和財団フォーラム「平和ビジョンの実現に向けて」

日時： 10 月 19 日（日）14：00～16：30（開場 13：00）

会場： 昭和女子大学人見記念講堂（東京都世田谷区太子堂 1-7-57）

主催： 財団法人 五井平和財団

後援： 文部科学省、国際連合大学

入場料： 自由席 3,000 円

<プログラム>

第 1 部

- 五井平和賞 受賞者記念講演／ロバート・ミューラー
（世界平和活動家・全人教育家。元国連事務総長補佐。現在、コスタリカにある国連平和大学名誉総長）
- 「平和の文化」特別賞 受賞者記念講演／千 玄室
（茶道裏千家前家元。ハワイ大学教授、モスクワ大学名誉教授、日本国連協会会長等、公職・役職多数）

第2部

○若者からのメッセージ

* 2003年度 国際ユース作文コンテスト授賞式、文部科学大臣奨励賞受賞者による作文発表が行われます。

○世界各国の平和を祈るフラッグセレモニー

* 世界の国旗を掲げながら、舞台と客席が一緒になって各国の平和を祈るセレモニーです。

○世界の楽器の響宴

* 今回特別に集まった音楽家たちが歓喜溢れるハーモニーを織りなします。使用される民族楽器も、尺八、琵琶、コラ、バイオリン、二胡、和太鼓など様々です。その他、モンゴル民謡や高校生の合唱も加わり、平和の創造に向けてそれぞれの個性を活かしつつ調和を奏でます。

●「講演会シリーズ：21世紀の価値観」第2回講演会のご案内

五井平和財団では、今般、「講演会シリーズ：21世紀の価値観」と銘打って、様々な分野で活躍されている講師をお招きし、21世紀に必要な新しい価値観と意識、生き方について共に考えていく講座を始めました。

第2回は、12月2日（火）19時～20時30分（開場18時30分）、JAホール（東京都千代田区大手町1-8-3）にて、琉球大学農学部の比嘉照夫教授を講師にお迎えしお話しいただく予定です。講演テーマは「奪われし未来から甦る未来」です。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

<行事の概要>

◇日 時：12月2日（火） 19時～20時30分（開場18時30分）

◇会 場：JAホール（東京都千代田区大手町1-8-3 JAビル）

* 地下鉄丸の内線・半蔵門線「大手町駅」A3出口直結／地下鉄千代田線・都営三田線「大手町駅」C1出口徒歩2分／地下鉄東西線「大手町駅」徒歩5分／JR「東京駅」丸の内北口徒歩10分

◇参加費：賛助会員1,000円／一般1,500円

◇申込方法：往復ハガキでお申込みください。

往信の裏面に、1)住所、2)氏名、3)電話番号、4)参加人数をご記入ください。

返信の表面に、お申込者の住所と氏名をご記入ください。

注）返信の裏面は何も記入しないでください。

◇申込締切：11月25日（火）必着

* 先着順（定員450名）

◇申込先：〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5 平和第1ビル

財団法人 五井平和財団 「12月2日 講演会」係 宛
お問合せ：TEL 03-3265-2071 FAX 03-3239-0919

● 2003年度 国際ユース作文コンテスト、受賞者発表！

今年度は「未来の地球 未来の自分」というテーマに対して、世界109カ国から合計5,254点（子どもの部3,219点、若者の部2,035点）に及ぶ作品が寄せられました。

厳正な選考の結果、「子どもの部」はルーマニアのテオドラ・ミホックさん（15歳・女）、「若者の部」はインドネシア共和国のミランティ・ダニアルさん（19歳・女）の作品が、それぞれ最優秀賞に選ばれました。この両名には10月19日の「五井平和財団フォーラム」の中で文部科学大臣奨励賞が授与されます。

多数のご応募をいただきまして、誠にありがとうございました。

<2003年度 国際ユース作文コンテスト上位入賞者>

◎文部科学大臣奨励賞（各1点）

子どもの部 テオドラ・ミホック（ルーマニア）15歳・女

若者の部 ミランティ・ダニアル（インドネシア共和国）19歳・女

◎優秀賞（各2点）

子どもの部 ミリセント・ボア・アンポンセン（米国）14歳・女

今井 絢（英国）14歳・女

若者の部 チャンダ・ムタレ（ザンビア共和国）17歳・男

キャサリン・ローズ・トレス（フィリピン共和国）23歳・女

● 若者たちの集い「夢を語り合おう！」参加者募集のお知らせ

若者たちの集い「夢を語り合おう！」を、下記の要領で開催いたします。

「2003年度国際ユース作文コンテスト」受賞者たちをゲストに招き、受賞作文の発表、交流ゲーム、小グループに分かれての意見交換、ティータイムを織り交ぜながら進められます。また、終了後は、希望者による夕食会を行う予定です。

21世紀の世界を築いてゆくのは私たちです。お互いの夢を語り合いましょう。

どなたでも自由にご参加いただけます。お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

なお、交流会参加費は無料です。

<実施要領>

◇日時：10月18日（土）14時～17時（13時30分開場）

◇会場：全国町村会館第1会議室（2階）電話：03-3581-0471

永田町1-11-35（地下鉄有楽町線、半蔵門線、南北線「永田町駅」）

第18号(2003年09月10日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第18号 ★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- 年次行事「2003年度 五井平和財団フォーラム」チケット発売中!
- 国連「国際平和デー」に参加しましょう!
 - 1) 国連本部での取り組み
 - 2) 第13回 アメニア ワールド ピース フェスティバル
 - 3) 学校教育での取り組み: 国連「国際平和デー」教育プログラム
- 2003年度国際ユース作文コンテスト集計結果(募集は締め切りました)
- 若者たちの集い「夢を語り合おう!」参加者募集のお知らせ

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 年次行事「2003年度 五井平和財団フォーラム」チケット発売中!

10月19日、昭和女子大学人見記念講堂にて、当財団の年次行事が「平和ビジョンの実現に向けて」というテーマで開催されます。

私たち一人一人が出来る平和への貢献とは何か、皆様と共に考えたいと思います。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

※この行事は昨年度までの年次行事「生命憲章シンポジウム」を継承するものです。

2003年度 五井平和財団フォーラム「平和ビジョンの実現に向けて」

日時: 10月19日(日) 14:00~16:30(開場13:00)

会場: 昭和女子大学人見記念講堂(東京都世田谷区太子堂1-7-57)

主催: 財団法人 五井平和財団

後援: 文部科学省、国際連合大学

入場料: 自由席 3,000円

<プログラム>

第1部

・五井平和賞 受賞者記念講演/ロバート・ミューラー

- ・「平和の文化」特別賞 受賞者記念講演／千 玄室

第2部

- ・若者からのメッセージ
- ・世界各国の平和を祈るフラッグセレモニー
- ・世界の楽器の饗宴

● 国連「国際平和デー」に参加しましょう！

9月21日は国際連合が定めた「国際平和デー」です。すべての国、すべての人々が共通の理想である国際平和を記念し、推進・実践する日です。国連はこの日を世界の停戦と非暴力の日として、すべての国と人々にこの日一日、敵対行為を停止するよう働きかけています。

ニューヨークの国連本部では、毎年この日を記念して、国連事務総長が日本から贈られた「平和の鐘」を鳴らし、世界平和を祈念して黙祷が行われ、また広報局主催で子ども達によるフラッグセレモニーなど、さまざまな特別記念行事が行われます。同時に、国連からの呼び掛けに応じて、世界各国で、市町村、市民団体、学校などが「国際平和デー」を祝して各種行事や式典を開催します。

皆様もこの日を記念して世界平和を祈るフラッグセレモニーなどでグローバルリンクにご参加ください。

1) 国連本部での取り組み

- 9月19日(金) 国連広報局主催行事でフラッグセレモニー
- 9月21日(日) 国連NGO主催ピースウォーク&WPPC、他

2) 第13回 アメニア ワールド ピース フェスティバル

主催：ワールド ピース プレイヤー ソサエティ（当財団の姉妹団体）

日時：2003年9月21日（日）正午～19時（現地時間）

会場：アメニア ワールド ピース サンクチュアリ

（米国ニューヨーク州北部）

<プログラム>

- ・ワールド ピース プレイヤー セレモニー（国際平和デー記念行事）
現地時間：17時～18時（日本時間：9月22日（月）午前6時～7時）
- ・ピース・ユース・サミット（若者達の平和会議）
- ・ネイティブ・アメリカン・テント
- ・ピースパルブース
- ・日本の文化紹介テント、他

3) 学校教育での取り組み：国連「国際平和デー」教育プログラム

五井平和財団は、国連広報センターと共催で、今年は特に青少年に「国際平和デー」を通して平和について学んでいただく教育プログラムを企画し、全国の学校・教育委員会等に広く参加を呼び掛けています。

◇実施日：2003年9月19日（金）または、9月22日（月）

*「国際平和デー」9月21日が日曜日にあたるため

◇場所：各学校または地域

◇参加方法（例）：

- ・「国際平和デー」について先生が話をする。
- ・「国際平和デー」について校内放送でアナウンスする。
- ・記念集会を行う。
- ・児童会・生徒会の呼びかけで記念行事を行う。
- ・世界平和のために黙祷を行う。
- ・「国際平和デー」を祝して国連旗と世界各国の国旗を掲揚する。
- ・国連の活動について学ぶ。
- ・平和に関する歌を歌う。
- ・平和をテーマに作文を書いたり、ポスターを描く。
- ・その他、各学校や地域で独自の取り組みを行う。

なお、各学校で行われた「国際平和デー」の取り組みは国連本部に報告されます。

● 2003年度国際ユース作文コンテスト集計結果（募集は締め切りました）

五井平和財団は、「世界の子供達のための平和と非暴力の文化の10年」を記念した2003年度国際ユース作文コンテストを実施しました。

「未来の地球 未来の自分」をテーマにした今年度の募集に対し、世界109カ国から合計5,254点（子どもの部3,219点、若者の部2,035点）に及ぶ応募作品が寄せられました。多数のご応募、誠に有難うございました。

なお、現在、厳正な選考作業が行われています。

選考結果につきましては、10月上旬、当サイト上にて発表します。各部門の最優秀賞受賞者（2名）は、10月19日（日）昭和女子大学人見記念講堂（東京都世田谷区）にて開催される「五井平和財団フォーラム」に招待され、文部科学大臣奨励賞を授与されるとともに、受賞作品の発表を行う予定です。

● 若者たちの集い「夢を語り合おう！」参加者募集のお知らせ

五井平和財団は、下記の要領で、若者たちの集い「夢を語り合おう！」を開催いたします。

第 17 号 (2003 年 07 月 25 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 17 号 ★★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- 機関誌『平和の創造』第 16 号、及び英文パンフレット『2001 - 2002 年活動レポート』発行のお知らせ
- 「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」第 1 回講演会のご案内
- 国際原子力機関 (IAEA) にピースポール贈呈 (7 月 10 日)
- 国連高等難民弁務官事務所 (UNHCR) にピースポール贈呈 (7 月 14 日)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 機関誌『平和の創造』第 16 号、及び英文パンフレット『2001 - 2002 年活動レポート』発行のお知らせ

本日 7 月 25 日、機関誌『平和の創造』第 16 号が発行されました。西園寺会長を交えた 4 名の女性リーダーたちによる座談会「自分自身を創造する」の特集記事をはじめ、ロータリークラブ主催教育講演会、全国各地で展開されている『生命憲章』の普及や平和教育など、盛り沢山の内容です。

また、五井平和財団の 2001 年度及び 2002 年度の活動をご紹介するカラー刷りの英文パンフレット『The Goi Peace Foundation Report 2001-2002』が完成しました。『生命憲章』を基軸とした当財団の理念をはじめ、21 世紀に入ってから 2 年間の活動内容を豊富な写真や資料とともに英語で詳しくご紹介しています。外国の方々へ財団をご紹介いただく際などにたいへん便利ですので、どうぞご利用ください。

この機関誌は、通常、当財団賛助会員の皆様には 1 部ずつお送りしていますが、別途ご希望の方は、財団の頒布品係までご注文ください。

機関誌、英文パンフレットともに、1 部 300 円 (税込み/送料実費) で頒布しています。

<ご注文先>

財団法人 五井平和財団 頒布品係

電話 03-3265-2071 / ファックス 03-3239-0919

● 「講演会シリーズ：21世紀の価値観」第1回講演会のご案内

本マガジン第14号にてお伝えいたしました通り、この度、五井平和財団では、「講演会シリーズ：21世紀の価値観」を開始することとなりました。

第1回講演会は、9月2日（火）19時～20時30分（開場18時30分）、千代田区いきいきプラザ一番町（東京都千代田区）にて、県立宮城大学教授の佐治晴夫博士を講師にお迎えし、「宇宙のひとかけらとしての私たち」～宇宙と人間とのかわりを通して、生きることの意味を考える～と題して、お話しいただく予定です。

皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。

<行事の概要>

日時：9月2日（火）19時～20時30分（開場18時30分）

会場：千代田区いきいきプラザ一番町 カスケードホール（地下1階）
（東京都千代田区一番町12）

* 地下鉄有楽町線「麹町駅」5・6番出口 徒歩5分／地下鉄半蔵門線「半蔵門駅」5番出口 徒歩5分

参加費：賛助会員1,000円／一般1,500円

申込方法：往復ハガキでお申込みください。

往信の裏面に、1)住所、2)氏名、3)電話番号、4)参加人数をご記入ください。

返信の表面に、お申込者の住所と氏名をご記入ください。

注）返信の裏面は何も記入しないでください。

申込締切：8月25日（月）必着（先着順：定員195名）

詳しくは、機関誌『平和の創造』第16号をご覧ください。

● 国際原子力機関（IAEA）にピースポール贈呈（7月10日）

7月10日、オーストリア・ウィーンにある国際原子力機関（IAEA）本部にて、西園寺裕夫理事長と西園寺昌美会長から、同機関のデービッド・ウォーラー事務次長にピースポールが贈呈されました。

● 国連高等難民弁務官事務所（UNHCR）にピースポール贈呈（7月14日）

7月14日、スイス・ジュネーブにある国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）にて、西園寺裕夫理事長と西園寺昌美会長から、ルード・ラバーズ高等難民弁務官にピースポール贈呈が贈呈されました。

【編集部だより】

◇7月27日、富士山御殿場口5合目でWPPCを行います。行ってきます！チャオ！

(出口)

◇機関誌最新号の特集記事「女性リーダーたちによる座談会：自分自身を創造する」は必読です！私も座談会の場に立ち合わせていただきましたが、国際経験豊かな4名の先生方から、これからの時代を生きていく者の一人として多くを学ばせていただくことが出来ました。

(中山)

☆☆

第 16 号 (2003 年 07 月 02 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 16 号 ★★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- 2003 年度 五井平和財団フォーラム開催のお知らせ
- 2003 年度「五井平和賞」受賞者、ロバート・ミューラー博士に決定！
- 2003 年度 国際ユース作文コンテストは募集を締め切りました！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 2003 年度 五井平和財団フォーラム開催のお知らせ
既に、本マガジン 14 号にてお伝えいたしましたが、10 月 19 日（日）14 時～16 時 30 分（開場 13 時）、昭和女子大学人見記念講堂（東京都世田谷区）において、2003 年度 五井平和財団フォーラムが開催されることが決定しました。
本年度の行事は、「平和ビジョンの実現に向けて」をテーマに、私たち一人一人が出来るポジティブな平和貢献とは何か、皆様と共に考えたいと思います。多数のご参加をお待ちしております。（※本行事は昨年度までの年次行事として開催していた“生命憲章シンポジウム”を継承するものです。）
- 2003 年度「五井平和賞」受賞者、ロバート・ミューラー博士に決定！
五井平和財団では「五井平和賞」を設け、教育・科学・文化・芸術等の分野から、人類社会に真の平和と調和をもたらす上で顕著な功績があり、『生命憲章』の理念原則と同じ方向性を持つ個人や団体を顕彰しています。
2003 年度「五井平和賞」は、厳正な審査の結果、世界的な平和教育家であり、国連平和大学（本部・コスタリカ）名誉総長である、ロバート・ニューラー博士に決定しました。
「20 世紀最大の世界市民の 1 人」、「グローバル教育の父」、「国連の希望の予言者」の威名が示す通り、博士は多くの人々や国際機関、世界の NGO に「恒久平和とは現実的に達成しうる理想である」との確信と勇気を常に与えています。その活動と功績に対して同賞が授与されることになりました。
前述の 2003 年度 五井平和財団フォーラムにおいて、授賞式および博士による受賞記念講演が行われる予定です。

● 2003 年度 国際ユース作文コンテストは募集を締め切りました！

去る 6 月 30 日、「2003 年度 国際ユース作文コンテスト」の作品募集を締め切りました。

本年度も、世界中の子どもや若者たちから、多数の作文をお寄せいただきました。主催者一同、心より感謝申し上げます。

各賞の発表は、10 月上旬に財団のホームページ上で行う予定です。

【編集部だより】

◇毎年 9 月 21 日は、国連が定めた「国際平和デー」です。この日、ニューヨークの国連本部では、平和の鐘が鳴らされ、事務総長のメッセージが朗読されます。また、例年、国連広報局による記念行事の中でフラッグセレモニー(WP P C)が行われています。

今年は、更に、各国の代表者がそれぞれの国の国旗を掲げて、国連本部からセントラルパークまで平和行進を行う予定だそうです。

同じ日、マンハッタンから北に 100 マイル、当財団の姉妹団体ワールド ピース プレイヤー ソサエティ(WP P S)の本部があるワールド ピース サンクチュアリでは、第 13 回アメニア ワールド ピース フェスティバルが開催され、世界中から集まる数千人~1 万人の地球市民によるフラッグセレモニーが行われます。

9 月 21 日前後、皆様のグローバルリンク参加を心よりお願いする次第です。

世界人類が平和でありますように (出口)

◇私が以前から尊敬しているロバート・ミューラー博士が、今年度の五井平和賞受賞者に選ばれ、たいへん嬉しく思っています。昨年、妻とコスタリカを訪ねた際に博士に直接お目にかかる機会があり、その時の温かく気さくなお人柄が、私たちの心の中に強い印象として残っています。(中山)

☆☆

第 15 号 (2003 年 06 月 25 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 15 号 ★★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- 2003 年度国際ユース作文コンテスト締切間近！
- 第 13 回 アメニア ワールド ピース フェスティバル開催のお知らせ
- 第 6 回 国際ピースパル・ピースカード・コンテスト募集要項
- 「思いやりの日」富士山 5 合目フラッグセレモニー開催のお知らせ

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 2003 年度国際ユース作文コンテスト締切間近！

本年度の国際ユース作文コンテストの作品募集締切まで後 5 日と迫りました。
どうぞ奮ってご応募ください。

<募集要項>

テーマ 「未来の地球 未来の自分」

応募資格 子どもの部 (小学 1 年生～中学 3 年生)
若者の部 (高校 1 年生～25 歳)

応募規定 子どもの部は 1200 字 (400 字詰原稿用紙 3 枚) 以内、若者の部は 1600 字
(同 4 枚) 以内。表紙に 1) 部門名、2) タイトル、3) 氏名、4) 住所、
5) 電話番号、6) 年令、7) 性別、8) 所属 (学校・学年) を明記。郵送、
ファックス、または電子メールで応募。団体応募の場合は、応募者の
一覧名簿と責任者の氏名を添付のこと。

応募締切 6 月 30 日 (当日消印有効)

各賞 文部科学大臣奨励賞各 1 点 (賞状と副賞 10 万円)
優秀賞各 2 点 (賞状と副賞 5 万円)
入選各 5 点 (賞状と賞品)
佳作各 25 点 (賞状と賞品)
応募者全員に記念品

- 第 13 回 アメニア ワールド ピース フェスティバル開催のお知らせ

9 月 21 日 (日)、姉妹団体ワールド ピース プレイヤー ソサエティの本部があ
る米国ニューヨーク州北部のアメニア ワールド ピース サンクチュアリにおき

まして、恒例のワールドピースフェスティバルが行われます。プログラムの目玉はフラッグセレモニーです。

* 時間：現地時間 16～18 時（日本時間 22 日午前 3～5 時）。正午（世界各地で現地の正午）には黙祷があります。

<グローバルリンクの呼びかけ>

今年アメニアワールドピースフェスティバルが行われる 9 月 22 日は、国連が毎年よびかけている「国際平和デー」（インターナショナルディオブピース）にあたります。その意義は「すべての国、すべての人々が平和の理想に立ち返り、強化するために捧げる日」と謳われており、毎年この日ニューヨークの国連本部では国連事務総長が「平和の鐘」を鳴らし、メッセージを発表します。また、国連広報局主催の記念行事の中でフラッグセレモニーが行われています。同時に世界中の個人・団体による「国際平和デー」の趣旨に応えた様々な取り組みが行われています。

今年も、国連本部でフラッグセレモニーが開催される予定です。

皆様も「国際平和デー」の趣旨にご賛同いただき、アメニアと NY 国連本部へのグローバルリンク（世界をひとつの輪につなげる行事）として、同日あるいはその前後に、それぞれの地域で国際平和に因んだ行事に取り組んでくださいますようお願い申し上げます。

プログラムは、国連の取り組みにならって以下のようなものが考えられます。

- ・世界平和のための黙祷。
- ・ピースベル（平和の鐘）を鳴らす行事。
- ・ピースキャンドルを灯す行事。
- ・各国の国旗を用いて平和を呼びかけるフラッグセレモニー。
- ・その他、各人・各グループでお考えになった国際平和に関する活動。

● 第 6 回 国際ピースパル・ピースカード・コンテスト募集要項

ワールドピースプレイヤーソサエティと五井平和財団では、今年も 5～15 歳の子どもを対象にカードコンテストを行います。「すべての生命との調和」をテーマに絵を描いて、素敵な絵葉書を作ってください。

テーマ 「すべての生命との調和」 副題 “May Peace Prevail on Earth”

応募資格 第 1 部門 対象年齢 5～8 歳
第 2 部門 対象年齢 9～12 歳
第 3 部門 対象年齢 13～15 歳

応募規定

1. サイズ 12cm x 17cm の大きさで、平面上に表して下さい。

* 立体表現は対象外とします。

2. 用具 色鉛筆、カラーペン、クレパス、水彩、油彩、アクリル絵の具など自由。
3. 用紙 画用紙など紙類。(但し、布は不可) 用紙の向きは縦横自由。
4. 指定 “May Peace Prevail on Earth” または「世界人類が平和でありますように」と紙面上に入れてください。
5. 出品点数 応募作品点数は自由。
* 一人何点でも応募できます。
6. 記載事項 カードの裏側には、1) 氏名、2) 住所、3) 学校または所属グループ名、4) 学年を必ず記載し、1)~3)はフリガナをつけてください。
7. 注意 応募作品の著作権はすべて主催者に帰属します。
- 締切り 10月6日(月) 五井平和財団必着
- 主催 ワールドピースプレイヤー ソサエティ
- 日本事務局 財団法人 五井平和財団
- 宛先 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5 平和第一ビル
(財)五井平和財団 ピースグリーティングカード係
- 選考 最優秀賞：各部門1点(賞状と卓上ピースポール)
優秀賞：各部門1点(賞状と記念品)
準優秀賞：各部門1点(賞状と記念品)
佳作：各部門3点(賞状)
応募者全員に参加証
- * WPPSのピースパルプログラムディレクターを委員長とする、各国代表者からなる選考委員会により審査が行われます。
- 結果発表 12月下旬までに、五井平和財団ウェブサイト上で発表いたします。

● 「思いやりの日」富士山5合目フラッグセレモニー開催のお知らせ

WPPCのやり方

7月26日(土)24時から27日(日)ご来光までの時間に、富士山御殿場口5合目にて開催される行事「思いやりの日」Sunrise of Compassionのプログラムの中で、富士山のご来光に合わせてフラッグセレモニーが行われます。

「思いやりの日」のプログラム概要は、下記の通りです。

主催 「思いやりの日」Sunrise of Compassion 事務局

日時 7月26日(土)24時~7月27日(日)ご来光まで

場所 富士山「御殿場口」5合目大石茶屋の上あたり

1. JR御殿場線 御殿場駅からバスまたはタクシーで約30分
2. 東名高速御殿場ICから車で約20分

* 「御殿場口」5合目無料駐車場あり(300台)

- 内容 * 午前0時から音楽、スピーチなどを楽しみます。
* 午前4時半頃、ご来光にあわせて世界に向けて思いやりのエネルギーを発信します。
* 午前6時頃、国旗を使って世界平和を呼びかけるフラッグセレモニーを行います。

この行事全体は「思いやりの日」Sunrise of Compassion 事務局が主催されており、すべての参加者は個人としての立場で参加するように要請されています。

フラッグセレモニーは主催者の要請を受けて、有志により行われます。

富士山5合目会場以外の場所でも、世界中で世界平和樹立に向けての様々な活動が行われます。

平和は私達一人一人が築き上げるものです。それぞれの場からの参加をお待ちしています。

<注意事項>

※食事、飲み物などは各位でご用意ください。

※懐中電灯、雨具、防寒具、ゴミ袋などご用意ください。

※トイレは5合目駐車場にあります。会場から徒歩15分かかります。必要に応じて携帯用トイレをご準備ください。

【編集部だより】

◇『生命憲章』は実行するものなり！

編集子は、1) 廃棄紙があればすべてリサイクルに出す

2) 世界に平和を呼びかけるフラッグセレモニーを「国際平和の日」
9月21日に実行する

3) 若者として『生命憲章』を実行するための具体的なアイデアを
もっと数多く考える

この3つの個人としての『生命憲章』の実行に向けて、鋭意努力中であります！

(出口)

◇毎日、財団事務局に、世界中から「国際ユース作文コンテスト」の応募作品が続々と「山のように」届けられています。今年はどここの国のどんな若者たちが文部科学大臣奨励賞の栄冠をつかむのでしょうか？ 担当者の一人として、応募者たちの夢や希望の数々に触れるのが、今からとても楽しみです。(中山)

☆☆

第14号(2003年06月12日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第14号 ★★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- 2003年度 五井平和財団フォーラム開催のお知らせ
- 「講演会シリーズ：21世紀の価値観」開始のお知らせ
- 第5回スコットランド ワールド ピース フェスティバル開催のお知らせ
- CS放送番組「平和の創造」の放送日変更のお知らせ
- ピース・ボランティア・ネットワーク(PVN)のご紹介
- 2003年度国際ユース作文コンテスト作品募集中

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 2003年度 五井平和財団フォーラム開催のお知らせ
10月19日(日)午後、昭和女子大学人見記念講堂(東京都世田谷区)において2003年度 五井平和財団フォーラムが開催されることが決定しました。
これは、昨年度まで当財団主催の年次行事として行われていた生命憲章シンポジウムを継承するものです。
今年度は「平和ビジョンの実現に向けて」と題し、五井平和賞授賞式や「平和の文化」特別賞の授賞式及び各受賞者による記念講演、「国際ユース作文コンテスト」上位入賞作品の発表と授賞式、また世界各国の平和を祈る「フラッグセレモニー」や音楽のアトラクションなどが予定されています。
皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。
プログラム概要ならびに入場券ご購入方法などの詳しい情報につきましては、7月25日発行の機関誌「平和の創造」16号、及び当財団のホームページ上で発表いたします。
- 「講演会シリーズ：21世紀の価値観」開始のお知らせ
この度、五井平和財団では、「講演会シリーズ：21世紀の価値観」を開始することとなりました。
このシリーズは、教育、科学、芸術、経済、外交など様々な分野で深い洞察力を発揮し、人類の正しい方向性を見据えながら、活動・研究をしていらっしゃる方々をお招きし、私たち一人一人が地球生命共同体の一員として、21世紀を真に

調和した世界へと築いていくために新しい価値観や意識、生き方について共に考えていく講座です。

第1回は、9月2日（火）夕方、東京都内にて、県立宮城大学教授で理学博士の佐治晴夫氏を講師としてお招きし、「宇宙のひとかけらとしての私たち」～宇宙と人間とのかかわりを通して、生きることの意味を考える～と題しまして、お話しいただく予定です。

プログラム概要ならびに参加申込み方法などの詳しい情報につきましては、7月25日発行の機関誌「平和の創造」16号、及び当財団のホームページ上で発表いたします。

皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。

なお、第2回は12月の開催予定です。また、3回目以降につきましては、毎年3、6、9、12月と年4回の開催を予定しています。

● 第5回スコットランド ワールド ピース フェスティバル開催のお知らせ

今年も、五井平和財団の姉妹団体ワールド ピース プレヤー ソサエティのスコットランド・サンクチュアリ（アラントンハウス）において、毎夏恒例の年中行事が行われます。

日程：7月19日（土）及び7月20日（日）の午後

*ワールド・ピース・フラッグ・セレモニーは、19日（土）16時～17時30分（日本時間20日（日）深夜0時～1時30分）に行われます。

<その他のプログラム>

19日・家族向けの催し物、インターナショナル・アート・エキシビション（国際こどもカードコンテスト）、日本文化の紹介（茶道・華道・書道）、ほか。

20日・スピーチ（主としてスピリチュアルな人たちが話し手となって、活動を紹介するコーナー）、日本文化紹介、ほか。

● CS放送番組「平和の創造」の放送日変更のお知らせ

諸般の事業により、本年6月以降、スカイパーフェクTV！216ch「精神文化の時間」での財団提供番組「平和の創造」の放送日は、毎月第1、第3、第5金曜日のみとなります。この先1ヶ月の放送予定は、次の通りです。

◇6月20日（金）9時～9時30分／19時30分～20時（再放送）

「アーヴィン・ラズロ博士・龍村仁監督による対談」

◇7月4日（金）9時～9時45分／19時45分～20時（再放送）

「五井平和財団活動紹介『平和の創造に向けて』」

◇7月18日（金）9時～9時30分／19時30分～20時（再放送）

「アーヴィン・ラズロ博士・龍村仁監督による対談」

● ピース・ボランティア・ネットワーク（P V N）のご紹介

五井平和財団では、ワールド ピース プレイヤー ソサエティと協力して、民族、宗教、政治を超えた平和活動へのボランティアとしての参加を呼びかけています。この自主活動をより活発化するため、昨年来ボランティアの方々が主体となって検討を進めてきた「ピース・ボランティア・ネットワーク（P V N）」が、いよいよ始動しました。

以下、P V Nの情報紙『Peace Net』編集担当者からのメッセージです。

「P V Nは昨年8月、五井平和財団の提唱する『生命憲章』の理念を基本にして、『ボランティアによるボランティア活動』を目指して立ち上げられました。

そして、P V Nの活動を広めてゆくために、今年4月にニュースレター形式の『Peace Net』（ピースネット）創刊号を発行し、現在行なわれている平和活動や今後の活動予定などを紹介させていただきました。

7月に発行する第2号では『Peace Net』創刊号をお読みになった方々から届いた、“私たちもこのような活動をしております”、といった反響などを取り上げさせていただきます。

これからも、『Peace Net』を通じ、ボランティア活動の輪を広げてゆきたいと考えておりますので、既に平和活動をされていらっしゃる方や、これから何かお手伝いしたいとお考えの方々のご参加をお待ちしておりますとともに、ご意見・ご提案、活動報告などをご投稿いただければ幸いと存じます。

<投稿先>

五井平和財団内 P V N編集担当まで

FAX 03-3239-0919

● 2003年度国際ユース作文コンテスト作品募集中

現在、本年度作文コンテストの作品を募集中です。テーマは「未来の地球 未来の自分」、応募締切りは6月30日（当日消印有効）です。

若い皆様の多数のご参加をお待ちしています。

【編集後記】

◇小さな事務局で大きなネットワーク、これが当財団が誇りとしていることの一つです。すべては皆様の物心両面にわたる尊いご協力の賜物です。

本日アルメニア共和国の首都エレバンでピースポールが立てられたというお便りをいただきました。最初に平和のメッセージを翻訳してくださった方、ポール

を製作してくださった方、現地まで運んでくださった方、設置許可をくださった方、設置にあたり穴掘りを手伝い共に設置を祝ってくださった方、世界中くまなく張り巡らされた 20 万本のピースポール・ネットワークも、長年にわたるこうした大勢の人類の善意の協力が結実して出来上がったのです。

一言！ありがとうございます。 (出口)

◇いよいよ 9 月より「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」が始まります。毎回、様々な分野の講師から、平和な 21 世紀を創造していくためのヒントとなるお話が伺えるはずです。ぜひ多くの皆様にご参加いただきたいと思います。 (中山)

☆☆

第13号 (2003年05月06日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第13号 ★★★★★★★★★★★★

【HEADLINE】

- CNNで当財団制作ピースメッセージビデオ放映中
- 2003年度国際ユース作文コンテスト作品募集中
- 冊子『国際ユース作文コンテスト選集 2000～2002年度版』発行のお知らせ
- 機関誌「平和の創造」第15号発行のお知らせ

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- CNNで当財団制作ピースメッセージビデオ放映中
2003年3月以来、当財団制作の公共広告（PSA）が、CNNを通して全世界で放映されています。CNNでは、国連やNGOなど公共性の高い組織や事業に対して毎日数回スポットの無料提供を行っています。（時間帯不定）
PSAの内容は、世界の子供たちが自国の言葉で「メイ ピース プリベイル オン アース（世界人類が平和でありますように）」と呼びかけているもので、「彼らの願いがあなたの願いでありますように」というナレーションで終わります。ビデオ素材は世界各地のボランティアが寄せてくれました。
- 2003年度国際ユース作文コンテスト作品募集中
現在、本年度作文コンテストの作品を募集中です。テーマは「未来の地球 未来の自分」、応募締切りは6月30日（当日消印有効）です。
若い皆様の多数のご参加をお待ちしています。
- 冊子『国際ユース作文コンテスト選集 2000～2002年度版』発行のお知らせ
この度、第1回の2000年度から2002年度までの3回分の作文コンテスト上位入賞作品全10点、及び受賞者名一覧表、集計データなどが収録された冊子『国際ユース作文コンテスト選集 2000～2002年度版』が、「五井平和財団叢書」シリーズの第1弾として発行されました。
現在、ご希望の方には、1部300円（税込み／送料実費）で頒布中です。

<ご注文先>

財団法人 五井平和財団

電話 03-3265-2071 / ファックス 03-3239-0919

● 機関誌「平和の創造」第15号発行のお知らせ

4月25日、当財団の機関誌「平和の創造」第15号が発行されました。

西園寺昌美会長とアーヴィン・ラズロ氏の共著『あなたは世界を変えられる』出版記念会の特集記事をはじめ、国際通貨基金（IMF）や石油輸出国機構（OPEC）など国際機関に対するピースポール贈呈の記事、「駐日外交官による交流プロジェクト」の記事など、最新情報が満載です。

現在、1部300円（税込み / 送料実費）で頒布中です。

<ご注文先>

財団法人 五井平和財団

電話 03-3265-2071 / ファックス 03-3239-0919

【編集後記】

◇ただいま平成15年度の賛助会員を募集中です。五井平和財団の事業はそのほとんどが賛助会費と皆様からの寄付金によってまかなわれています。平和の創造に向けて、ますますのご協力をお願い申し上げます。 (出口)

◇年度が改まり1ヶ月が経ちました。メールマガジン編集部では、引き続き、皆様に財団活動の最新情報をより迅速にご提供できるよう努めて参りますので、ご愛顧の程、宜しく願い申し上げます。 (中山)

☆☆

第 12 号 (2003 年 03 月 17 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 12 号 ★★★★★★★★★★★★

□ HEADLINE

- CNNで当財団制作ピースメッセージビデオ放映中!
- 「あなたは世界を変えられる」出版記念会開催報告 (2月26日)
- 「駐日外交官による交流プロジェクト」最新情報
- 石油輸出国機構 (OPEC) にピースポール贈呈 (1月30日)
- 「生命憲章」朗読ビデオ頒布開始のお知らせ
- 2003年度国際ユース作文コンテスト作品募集のお知らせ

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- CNNで当財団制作ピースメッセージビデオ放映中!
当財団制作の公共広告 (PSA) が、CNNを通して、2003年3月から全世界で放映されています。CNNでは、国連やNGOなど公共性の高い組織や事業に対して毎日数回スポットの無料提供を行っています。(時間帯不定)
PSAの内容は、世界の子供たちが自国の言葉で「メイ ピース プリベイル オン アース (世界人類が平和でありますように)」と呼びかけているもので、「彼らの願いがあなたの願いでありますように」というナレーションで終わります。ビデオ素材は世界各地のボランティアが寄せてくれました。
- 「あなたは世界を変えられる」出版記念会開催報告 (2月26日)
2月26日、当財団の西園寺昌美会長とブダペストクラブ総長で同クラブ創設者のアーヴィン・ラズロ博士の共著「あなたは世界を変えられる」の出版記念会が東京のホテルオークラにおいて開催されました。本著は、2002年11月の発売以来、既に1万部以上を売上げています。
今回の出版記念会は京セラ株式会社名誉会長・稲盛和夫氏、昭和電工株式会社最高顧問・鈴木治雄氏、茶道裏千家前家元・千玄室氏、元内閣総理大臣・中曽根康弘氏 (以上50音順) の4名が発起人となって呼びかけ開催されたもので、実業界、政界、メディア、文化、芸術方面をはじめとする各界の日本を代表するオピニオンリーダーら約400名が出席しました。

● 「駐日外交官による交流プロジェクト」最新情報

2001年10月以来、当財団の平和教育事業の一環として、駐日各国大使館の協力を得て、東京をはじめ、神奈川、埼玉、大阪、香川、愛媛、熊本など、各地の学校で、外交官ゲストティーチャーによる国際交流授業が実施してきました。3月現在、実施回数は実に21回を数えます。

このプロジェクトは、当財団が青少年を対象として、地球的・世界的な視野から真の国際平和の精神を育むことを目的として展開されており、2003年度も継続的に実施される予定です。

● 石油輸出国機構（OPEC）にピースポール贈呈（1月30日）

1月30日、オーストリア・ウィーンにある石油輸出国機構（OPEC）本部にて、ピースポールが贈呈されました。

● 「生命憲章」朗読ビデオ頒布開始のお知らせ

美しい映像にのせて「生命憲章」（日本語及び英語）の朗読を収めたビデオが発売となりました。頒布価格は500円（税込み）、収録時間は合計15分です。

「生命憲章」の紹介や勉強会での利用に便利です。

ご注文は、当財団の頒布品担当までお願いいたします。（電話 03-3265-2071 / ファックス 03-3239-0919）

● 2003年度国際ユース作文コンテスト作品募集のお知らせ

現在、「2003年度国際ユース作文コンテスト」の作品を募集中ですが、後援の文部科学省、ユネスコ本部、東京都教育委員会、協賛の日本航空に加え、NHKと日本経済新聞社が新たに後援企業として加わりました。

4回目となる今回のコンテストのテーマは「未来の地球 未来の自分」です。若い皆様の多数のご参加をお待ちしています。

なお、応募締切りは6月30日（当日消印有効）です。

【編集後記】

◇世の中には良い活動が沢山あります。五井平和財団では、それぞれの個人、団体がそれぞれに良いと信ずる活動を行いつつ、行っている活動の違いはそのままに心が平和意識で結ばれ、価値観は『生命憲章』の理念・原則を共有している、そういう在り方を目指しています。（出口）

◇世界各地の子どもや若者達の平和への純粋な願いが、CNNのケーブル網を通じて、一人でも多くの大人達の心に届けられるよう願って止みません。(中山)

☆☆

第 11 号 (2003 年 01 月 28 日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第 11 号 ★★★★★★★★★★★★

□ HEADLINE

- 機関誌『平和の創造』14号発行のお知らせ
- 新しい財団紹介ビデオ発売のお知らせ
- 2003 年度国際ユース作文コンテスト募集要項
- 国際通貨基金 (IMF) にピースポール贈呈
- 2002 年ピースパル国際グリーティングカードコンテスト結果発表
- 姉妹団体ワールド ピース プレイヤー ソサエティの行事日程

☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 機関誌『平和の創造』14号発行のお知らせ
1月25日、五井平和財団機関誌「平和の創造」14号が発行されました。
昨年11月18日、文京シビックホール（東京都文京区）にて開催いたしました「生命憲章シンポジウム：調和の世紀を創る」の特集記事のほか、西園寺昌美会長のヨーロッパ訪問記事や、全国各地の学校で展開されている「駐日外交官による交流プロジェクト」の実施報告などが豊富な写真と共に掲載されています。
- 新しい財団紹介ビデオ発売のお知らせ
1月21日に発売された新しい財団紹介ビデオ「五井平和財団活動紹介 平和の創造に向けて」では、財団の様々な分野での活動を豊富な記録映像と共に紹介しています。収録時間約15分、本体価格1,000円（税別）、送料は実費です。
- 2003 年度国際ユース作文コンテスト募集要項
今年で4回目を迎える「2003 年度国際ユース作文コンテスト」の募集が開始されました。
- 国際通貨基金 (IMF) にピースポール贈呈
昨年12月19日、アメリカ合衆国ワシントンDCの国際通貨基金本部にて、五井平和財団の西園寺裕夫理事長と西園寺昌美会長から国際通貨基金の専務理事、ホルスト・ケーラー氏にピースポールが贈呈され、その除幕式が行われました。

● 2002年ピースパル国際グリーティングカードコンテスト結果発表

昨年10月、日本でもご紹介しましたピースパル国際グリーティングカード・コンテストの審査結果発表がロシア連邦のノボゴロド市で行われました。

● 姉妹団体ワールドピースプレイヤーソサエティの行事日程

2003年のアメニア・サンクチュアリ（アメリカ合衆国ニューヨーク州）およびアラントン・サンクチュアリ（スコットランド・ダンフリース市）での行事日程が決まりました。

○ アラントン・サンクチュアリ（スコットランド）

「セレブレーション フォア ワールドピース」

開催日：7月19日（土）（時間未定）

○ アメニア・サンクチュアリ（アメリカ合衆国）

「ワールドピースフェスティバル」

開催日：9月21日（日）（時間未定）

【編集後記】

◇人類に新しい価値観と道徳基準を！この気持ちで本年も『生命憲章』を実行し普及しましょう。（出口）

◇新発売の「五井平和財団紹介ビデオ 平和の創造に向けて」では、財団の活動がたいへん分かり易く紹介されています。皆さま、ぜひご活用を！（中山）

☆☆

第10号 (2002年12月20日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第10号 ★★★★★★★★★★★★

□ HEADLINE

- 生命憲章シンポジウム「調和の世紀を創る」開催報告 (11月18日)
- 2002年度国際ユース作文コンテスト受賞作文
- 西園寺昌美会長がスイスの2つの国際会議で講演 (10月9日及び10日)
- 機関誌『平和の創造』14号の発行日変更のお知らせ
- 『生命憲章』に新たにインドネシア語が加わり、全部で16言語に

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 生命憲章シンポジウム「調和の世紀を創る」開催報告 (11月18日)
2002年11月18日、東京・文京シビックホール (大ホール) において五井平和財団主催、文部科学省後援の生命憲章シンポジウム「調和の世紀を創る」が開催されました。
第1部では『生命憲章』の紹介、五井平和賞授賞式と受賞記念講演、国際ユース作文コンテスト最優秀作品発表と文部科学大臣奨励賞授賞式、子ども向け『生命憲章』のプレゼンテーション、第2部では「理想の教育を考える」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。
- 2002年度国際ユース作文コンテスト受賞作文
本コンテストの最優秀賞 (文部科学大臣奨励賞) 受賞作文2点と優秀賞受賞作文4点の全文がホームページ上でご覧いただけます。
- 西園寺昌美会長がスイスの2つの国際会議で講演 (10月9日及び10日)
10月9日、西園寺昌美会長が、スイスのジュネーブで行われたグローバル・ピース・イニシアティブのサミットに出席し、75カ国からの約500人の女性リーダー達を前に「平和の創造」のための提言を行いました。

また、10月10日には、西園寺会長は、ジュネーブに本部を置く国際機関、インターナショナル ソサエティー オブ ヒューマン バリューズが主催した「若者と人間の価値観」に関する国際会議の中で、若者向けのスピーチを行いました

した。

● 機関誌「平和の創造」14号の発行日変更のお知らせ

本年の生命憲章シンポジウムが11月下旬に開催されたことに伴い、編集上の事情により、当初12月25日としていた機関誌「平和の創造」14号の発行日を、2003年1月25日に変更させていただくこととなりました。

皆様のご理解の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

● 『生命憲章』に新たにインドネシア語が加わり、全部で16言語に

日本語版、英語版を含め、全部で16言語の『生命憲章』がアップロードされています。

【編集後記】

◇本メールマガジンも創刊号から数えて10号目で購読者が400名を越えました。引き続き、財団活動の最新情報をお伝えして参りますので、よろしくお願い申し上げます。(中山)

☆☆

第9号 (2002年11月01日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第9号 ★★★★★★★★★★★★★★

□ HEADLINE

- 生命憲章シンポジウム「調和の世紀を創る」への参加ご案内 (11月18日)
- 2002年度国際ユース作文コンテスト入賞者発表!
- 西園寺昌美会長と2001年度五井平和賞受賞者アーヴィン・ラズロ博士の共著発売予定! (11月10日)
- 若者たちの集い「調和に向けて語り合おう!」参加者募集 (11月17日)
- 『生命憲章』全15言語に!

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 生命憲章シンポジウム「調和の世紀を創る」への参加ご案内 (11月18日)
11月18日(月)午後6時~8時半(開場午後5時)、文京シビックホール(東京都文京区)大ホールで開催されます。

2002年度の当財団主催・生命憲章シンポジウム「調和の世紀を創る」についてご案内いたします。

生命憲章シンポジウムという行事は、平和の創造に向けて五井平和財団が提唱している『生命憲章』の理念と原則が、実際の世界で実現されていくことを目指し、五井平和賞授賞式および国際ユース作文コンテスト最優秀作品への文部科学大臣奨励賞授賞式を兼ねて、毎年一回東京で開催されています。(全国各地でも地方『生命憲章』シンポジウムが開催されています。)

生命憲章シンポジウムでは、財団から『生命憲章』をご紹介するとともに、様々な分野において、優れた業績をあげられている方々をゲストとして講演者やパネリストにお迎えし、新しい発想に触れ、活発な意見交換を行っています。

第1部では、西園寺裕夫理事長による『生命憲章』の紹介に続き、「五井平和賞」の授賞式と、受賞者による記念講演が行われます。2002年度の五井平和賞は「独創的な思索により、日本文化の総合的な研究の発展に大きく寄与するなど、文化・教育の分野を通じての、人類の未来に真の平和と調和をもたらす上での顕著なる功績」により哲学者、梅原 猛氏に授与されます。

同じく、2002年国際ユース作文コンテストの最優秀作品に対する文部科学大臣奨励賞の授賞式が行われます。子どもの部、若者の部それぞれの最優秀賞受賞者

による該当作品の発表も行われます。なお、受賞者が授賞式参加のために来日するチケット及び東京での宿泊は、日本航空グループから協賛という形で、ご支援をいただいています。

また、幼い子ども達にも理解できるようにという趣旨で、「子ども達の生命憲章」というプログラムも上演されます。

第2部では「理想の教育を考える」というテーマでのパネルディスカッションが行われます。パネリストはアフリカのタンザニアで永年チンパンジーの研究を続けるとともに、国連の「平和の使者」でもある、英国生まれの動物行動学者ジェーン・グドール博士、インドのラクノウ市で本年度のユネスコ平和教育賞に輝いたシティー・モンテッソーリ・スクールの創始者である教育者ジャグディッシュ・ガンジー氏、そして当財団の西園寺昌美会長、西園寺裕夫理事長が加わります。

どうぞ奮ってご参加ください。

チケットは自由席3000円です。

● 2002年度国際ユース作文コンテスト入賞者発表！

五井平和財団主催の「国際ユース作文コンテスト」への多数のご応募、誠にありがとうございました。

「調和」をテーマにした今年度の募集に対し、世界66カ国から合計2439点の応募作品が届きました。厳正な選考の結果、「子どもの部」ではベラルーシのアナスタシア・ラカヴァさん（11歳）、「若者の部」ではイスラエルのリアット・マルガリットさん（18歳）の作品が、それぞれ最優秀作品として選ばれました。このお二人には、11月18日（月）に文京シビックホール（東京都文京区）にて開催される「生命憲章シンポジウム」の中で、文部科学大臣奨励賞が授与されます。

以下、文部科学大臣奨励賞、優秀賞の各部門の入賞者を発表します。

「2002年度 国際ユース作文コンテスト入賞者」

<子どもの部>

○文部科学大臣奨励賞（1点）

『調和は私の世界』

アナスタシア・ラカヴァ（ベラルーシ・ジャルジンスク市・市立ベラルーシ学校・11歳）

○優秀賞（2点）

『調和』

マリアム・タゼーム（パキスタン・イスラマバード市・OPF女子学校・11歳）

『調和とは何でしょうか』

上田茜（米国リッチモンド市・スプリングフィールドパーク小学校・9歳）

<若者の部>

○文部科学大臣奨励賞（1点）

『調和』

リアット・マルガリット（イスラエル・エルサレム市・ヘブライ大学附属高校・18歳）

○優秀賞（2点）

『地上のハーモニー：真の最高傑作』

アリソン・ズビックス（米国ブライトン市・デューク大学・18歳）

『21世紀の調和世代』

ダリオ・ダンドレーア（イタリア・トリノ市・A・モンティ高校・18歳）

● 西園寺昌美会長と2001年度五井平和賞受賞者アーヴィン・ラズロ博士の共著発売予定！（11月10日）

この度、当財団の西園寺昌美会長と2001年度五井平和賞受賞者のアーヴィン・ラズロ博士（システム哲学、未来研究）の共著『あなたは世界を変えられる』が発売の運びとなりました。

本著では、西洋と東洋、西洋科学と東洋の叡智、男性と女性の対比を超えた視点から、危機にある21世紀の人類が、持続可能な成長と無限なる進化の道に至るための明確な理念と方法が提示されています。ミハイル・ゴルバチョフ氏の特別寄稿も含まれています。

● 若者たちの集い「調和に向けて語り合おう！」参加者募集（11月17日）

五井平和財団は、下記の通り、若者たちの集い「調和について語り合おう」を開催いたします。調和の世紀を創るために、今、若者として、何に価値を見出し、どう行動・実行すべきなのかを語り合しましょう。

今回は、当財団主催の「2002年度国際ユース作文コンテスト」の最優秀賞受賞の二人（子どもの部／ベラルーシ・11歳、若者の部／イスラエル・18歳）による「調和」への提言を一つの手がかりとして、地球的な視野に立ったディスカッションの場を設けます（逐次通訳あり）。また、年齢を問わず、オブザーバーの参加も歓迎いたします。

<実施要領>

- ◇日時 11月17日(日) 9:30~11:45 (9:15開場)
- ◇場所 日本教育会館(千代田区一ツ橋2-6-2)
(営団地下鉄半蔵門線、都営新宿線神保町駅(A1出口)より徒歩3分、
都営三田線神保町駅(A8出口)より徒歩5分、営団地下鉄竹橋駅
(北の丸公園側出口)より徒歩5分、JR総武線水道橋駅(西口)より
徒歩15分)
- ◇内容 受賞者との質疑応答、「調和」に向けた意見交換、交流
- ◇申込方法 FAXまたは電子メールで1)氏名、2)郵便番号、3)住所、
4)電話番号・FAX番号、5)所属先(学校名)、6)賛助
会員か否か、7)昼食会への参加希望有無、をご明記の上、下記
までお申込みください。

<お問合せ・お申込先>

財団法人 五井平和財団(担当 芦田・中山)

電話 03-3265-2071

ファックス 03-3239-0919

電子メール info@goipeace.or.jp

● 『生命憲章』全15言語に!

この度、『生命憲章』の翻訳に新たに、アラビア語、オランダ語、中国語、ヒンディー語、ヘブライ語、ベンガル語、ポルトガル語の7言語が加わりました。この結果、現在15の言語での『生命憲章』がアップロードされています。

その他にも、現在、『生命憲章』の趣旨に賛同した語学の専門家により、韓国語(朝鮮語)、ペルシャ語、ウズベク語、ウルドゥー語、パンジャブ語、スワヒリ語、アルメニア語、エスペラント語等への翻訳努力が続けられています。

【編集後記】

◇マルチメディアが当然となった今の時代、編集者も一つの媒体で記事を仕上げたからといって安穩としておられません。機関誌、ホームページ、メルマガ、そしてCS放送用番組、頒布用ビデオなどなど、実に様々なメディアでそれぞれに相応しい内容とタイミングで情報を発信できるよう努力をしていますが、実に忙しい時代になったものです。(出口)

◇国際ユース作文コンテスト入賞者が発表されました。今回来日予定のアナスタシアさん（ベラルーシ）とリアットさん（イスラエル）（ともに女性）の「生命憲章シンポジウム」での作品発表が待ち遠しい限りです。（中山）

☆☆

第8号 (2002年09月26日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第8号 ★★★★★★★★★★★★★★

□ HEADLINE

- 《生命憲章シンポジウム「調和の世紀を創る」》開催のお知らせ (11月18日)
- 2002年度五井平和賞受賞者、梅原猛氏に決定!
- 国連広報局主催WPPC開催される! (9月23日)
- アフリカで初のWPPSPピースレップミーティング開かれる (7月19日)
- 「国際エコツーリズム年」記念シンポジウム開催報告 (7月29日)
- 仙台『生命憲章』シンポジウムのお知らせ (10月27日)

☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 《生命憲章シンポジウム「調和の世紀を創る」》開催のお知らせ (11月18日)
11月18日(月)、2回目となる生命憲章シンポジウムが、文京シビックホール(大ホール)にて開催されます。「調和の世紀を創る」と題する本年度のシンポジウムは、これからのあるべき時代を展望し、人類本来の生き方をともに考え、さらに次世代を担う子ども達に必要な教育は何かを探っていきます。

<開催要領>

開催日時: 2002年11月18日(月) 18時~20時30分(開場17時)

会場: 文京シビックホール(大ホール) TEL03-5803-1100

主催: 五井平和財団

後援: 文部科学省(予定)

<プログラム>

(第1部)

○「五井平和賞」授賞式・受賞者記念講演 梅原 猛(たけし)

○若者からのメッセージ

「国際ユース作文コンテスト」文部科学大臣奨励賞授賞式

○子ども達の『生命憲章』

(第2部)

○パネルディスカッション「理想の教育を考える」

ジェーン・グドール/動物行動学者

ジャグディッシュ・ガンジー/ユネスコ平和教育賞受賞者

梅原 猛／哲学者

西園寺昌美／五井平和財団会長

西園寺裕夫（モデレーター）／五井平和財団理事長

※日本語・英語の同時通訳あり。

<チケット販売について>

○入場料：自由席 3,000 円

● 2002年度五井平和賞受賞者、梅原猛氏に決定！

第3回となる2002年度五井平和賞は、選考委員会による厳正な選考の結果、哲学者で日本ペンクラブ会長でもある梅原 猛氏に授与されることが決まりました。

11月18日（月）に開催される《生命憲章シンポジウム「調和の世紀を創る」》の中で、授賞式および受賞記念講演が行われる予定です。（上記参照）

● 国連主催のフラッグセレモニー開催される！（9月23日）

9月23日（月）、アメリカNY市にある国連本部において、国連広報局主催、当財団姉妹団体のワールドピースプレーヤーソサエティとパスウェイズトゥーピースの両NGO共催で恒例の「国際平和デー（International Day of Peace）」の記念行事が開催されました。

本行事では、アナン国連事務総長夫人を含む国連関係者によるスピーチのほか、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、シエラレオネなど紛争地域の子供達とのライブ中継を使ったディスカッション、国連広報局へのピースポール贈呈、1分間の黙祷の後、クライマックスとして、学生達も参加して世界各国の平和を呼びかけるフラッグセレモニーが世界各地の中継地をつないで壮大に行われました。

なお、本行事の様子はインターネットを通じて全世界で同時中継されました。

● アフリカで初のWPPSPピースレップミーティング開かれる（7月19日）

7月19日～21日、ワールドピースプレーヤーソサエティ（WPPS）の活動をアフリカ各地で展開しているピースレップ達による、アフリカでは初のミーティングがガーナの首都アクラで開催されました。

● 「国際エコツーリズム年」記念シンポジウム開催報告（7月29日）

7月29日（月）、東京都渋谷区のUNハウス（国連大学ビル）ウ・タント国際会議場において当財団と国際連合広報センター主催の「国際エコツーリズム年」記念シンポジウム「地球を体験し、地球を守る新しい旅」が開催されました。

● 仙台『生命憲章』シンポジウムのお知らせ（10月27日）

10月27日（日）、13時30分～16時30分（開場12時）、仙台市シルバーセンター（仙台市青葉区）において、五井平和財団主催の仙台『生命憲章』シンポジウムが開催されます。

本行事では、当財団の出口隆之ディレクターによる『生命憲章』ガイダンスのほか、音楽の演奏やワールドピースフラッグセレモニーが行われる予定です。参加無料です。

【編集後記】

◇「真実は小説より奇なり」しばしば使われる言葉です。そして世界情勢は、その上を行く奇なる様相です。何が欠けているのでしょうか？おおよそ世界的な大きな問題・課題の中核には、

- ・全体を見通す善なる視点の欠如
- ・小は個人から大は国家までの利己主義・排他主義・孤立主義
- ・生命の尊厳への配慮の欠如
- ・人種、民族、宗教、政治など立場の違いについての不寛容
- ・大自然への傲慢と無知、破壊
- ・効率優先主義、過当競争、拝金主義などの物質偏重主義

などの原因が、厳然として存在しているように見受けられます。

ですから、非常に単純なことで、『生命憲章』の理念「地球生命共同体の一員としての自覚と使命の遂行」、原則「1. 生命の尊厳 2. すべての違いの尊重 3. 大自然への感謝と共生 4. 精神と物質の調和」が理解され実行されることが望まれるのです。生命憲章シンポジウムはそうした時代の必要性を担って、今年も開催されます。 （出口）

◇国際平和デーに行われた「国連の、国連による、国連のための」フラッグセレモニーは本当に画期的でした。まさに『生命憲章』が原則とするところの、すべての違いを尊重することの素晴らしさを、改めて世界の人々が認識する非常に価値ある機会となりました。 （中山）

☆☆

第7号 (2002年08月16日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第7号 ★★★★★★★★★★★★★★★

□ HEADLINE

- 名古屋『生命憲章』シンポジウムのお知らせ (8月17日)
- アメニア・ワールド・ピース・フェスティバル開催のお知らせ (8月17日)
- WTO (世界貿易機構) 本部にピースポール贈呈 (報告)
- 国際ユース作文コンテストは募集を締め切りました!
- 国連「国際エコツーリズム年」記念シンポジウムを開催 (報告)
- 国連「国際山岳年」2002グローバルイベント「思いやりの日」において富士山ご来光フラッグセレモニーを開催 (報告)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 名古屋『生命憲章』シンポジウムのお知らせ (8月17日)
8月17日(土)、13時~16時(開場12時)、名古屋国際会議場において、五井平和財団主催の名古屋『生命憲章』シンポジウムが開催されます。

本行事では、当財団の上村恒司総務担当ディレクターによる『生命憲章』ガイドダンスとフラッグセレモニーが行われる予定です。参加は無料。

- アメニア・ワールド・ピース・フェスティバル開催のお知らせ (8月17日)
8月17日(土) 正午~18時(日本時間18日午前1時~7時)、米国ニューヨーク州北部のアメニア・ワールド・ピース・サンクチュアリにおいて、第12回アメニア・ワールド・ピース・フェスティバルが開催されます。

今年のテーマは、'Igniting the Spirit of World Peace' (世界平和の精神に灯をともしよう!) です。

9月11日に1周年を迎えるニューヨークの同時多発テロ事件に合わせて、慰霊ピースポールがブルームバーグ・ニューヨーク市長に贈呈されます。それに先立ち、今年のフェスティバルでは、慰霊のピースメッセージを集めて「911メモリアルピースポール」の中に収めるプロジェクトに脚光が当てられます。

なお、フラッグセレモニーは16時~17時(日本時間18日5時~6時)に行われる予定です。

● WTO（世界貿易機構）本部にピースポール贈呈（報告）

7月22日、スイス・ジュネーブに本部のあるWTO（世界貿易機構）の敷地内において、マイク・ムーア事務局長に対して、当財団の西園寺裕夫理事長よりピースポールが贈呈されました。

● 国際ユース作文コンテストは募集を締め切りました！

7月25日、「2002年度国際ユース作文コンテスト」の作品募集を締め切りました。

66ヶ国より、子どもの部と若者の部を合わせて、約2,400通の作文が寄せられました。多数のご応募、誠にありがとうございました。

上位各賞の発表は、11月上旬に財団のホームページ上で行う予定です。

● 「国際エコツーリズム年」記念シンポジウムを開催（報告）

7月29日、東京・青山のUNハウス（国連大学ビル）において、五井平和財団と国際連合広報センター主催の「国際エコツーリズム年」記念シンポジウム～「地球を体験し、地球を守る新しい旅」～が開催されました。

会場となったウ・タント国際会議場には、平日の午後にもかかわらず、エコツーリズムに関心のある一般参加者に加え、環境教育に取り組む学校関係者、研究者、NGO関係者、各国の政府観光局関係者ら、約300名が訪れ、講演者や発表者達の話に熱心に耳を傾けました。

冒頭の西園寺理事長の挨拶に引き続き、元環境庁長官で日本エコツーリズム協会会長の愛知和男氏は、本年5月のワールド・エコツーリズム・サミットの成果を踏まえ、「国際エコツーリズム年の取組み」と題して基調講演を行いました。また、海洋生物学者のジャック・T・モイヤー氏のほか、東京大学大学院の山下晋司、下村彰男両教授の合計3名の発表者達から、それぞれ環境教育、教育旅行、エコツアーと地域社会理解のテーマで、事例発表がありました。

本シンポジウムの詳細についてのご報告は、第13号機関誌（9月25日発行）上で行います。

なお、本シンポジウムに併せて、国連大学ビル内のUNギャラリーにて同時開催された「国際エコツーリズム年」記念展パネル展示物は、ご希望のある団体に貸し出し巡回展示する予定です。パネル展示にご関心のある方は、財団事務局（電話03-3265-2071）まで、お気軽にご連絡ください。

● 国連「国際山岳年」2002グローバルイベント「思いやりの日」において富士山ご来光フラッグセレモニーを開催（報告）

7月28日、富士山御殿場口5合目で「思いやりの日」'Sunrise of Compassion'

というイベントが開かれました。このイベントは、日の出に向かって世界中のいのちを思いやる有志参加のイベントです。

今年は国連が定めた「国際山岳年」にあたります。

午前零時「思いやりの日」のプログラムがスタートしました。イベントの主催者である龍村和子さんの話、チベットの高僧の声明、映画「地球交響曲」の龍村仁監督のトーク、心に響く様々な音楽、多数の修験者が参加しての「世界を思いやる護摩焚き」、スーザン・オズボーン女史による癒しの歌声。

午前4時半、東の空がうっすらと白み約500人の参加者が皆で手をつなぎ静かに世界の人々、動植物などすべてのいのちを思いやり、黙想を行いました。

ご来光を仰いだ後、午前5時、フラッグセレモニーが始まりました。大勢の子ども達、修験者やチベット僧達、アメリカからの取材陣も旗手に名乗りをあげ、会場全体から、「思いやり」が発信されました。アメリカ人のスーザン・オズボーン女史や龍村仁監督も旗手を務めた会場は歓声に包まれました。

なお、この祝典の様子は、「国連国際山岳年2002」のグローバルなスペシャル番組としてテレビ、ラジオおよびインターネットを通じて、世界100ヶ国以上に放送され、何億人もの視聴者に届けられる予定です。

【編集後記】

◇8月6日の広島、9日の長崎、15日の終戦記念日。8月は暑き記念日が続きます。今こそ、世界人類みんながみんな過去を水に流してさっぱりしたいものですね。

「ごめんなさいね」

「とんでもございません、こちらこそ」

こうした調和の精神が日本国内での習慣にとどまっていはいけない。世界中に日本精神を伝えよう。そう思っている内にツクツク法師（秋の到来を告げる蝉）の声が聞こえました。暑き夏ももうすぐおしまい。 （出口）

◇今年も世界中からたくさんの作文が財団事務局に送られてきました。応募総数は昨年第2回コンテストの実に2.4倍の数に上ります。私も、彼らの文化背景の違いによる様々な視点に触れ、新鮮な驚きや感動を体験しています。 （中山）

☆☆

第6号 (2002年07月19日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第6号 ★★★★★★★★★★★★★★

□ HEADLINE

- 「国際エコツーリズム年」記念シンポジウム参加申込み締切り間近!
- 「国際山岳年」記念行事「思いやりの日」Sunrise of Compassionにおける「富士山ご来光フラッグセレモニー」への参加者募集中
- 国際ユース作文コンテスト、締切り間近! (7月25日)
- 財団主催・名古屋『生命憲章』シンポジウム参加者募集中

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 「国際エコツーリズム年」記念シンポジウム参加申込み締切り間近!

7月29日(月)、東京・青山の国連大学において開かれる五井平和財団と国際連合広報センター主催の「国際エコツーリズム年」記念シンポジウム～「地球を体験し、地球を守る新しい旅」～の参加申込みの締切り日が、7月24日に迫っています。

参加無料。まだ座席に余裕がありますので、どうぞ奮ってご参加ください。

主催：五井平和財団、国際連合広報センター

日時：2002年7月29日(月) 13時～16時20分(12時30分開場)

場所：国連大学ビル(UNハウス)3階 ウ・タント国際会議場

渋谷区神宮前5-53-70 (JR渋谷駅より徒歩10分、地下鉄表参道駅B2出口より徒歩5分)

内容：基調講演および事例発表(13時～16時20分)

終了後16時20分～17時30分に、2階レセプションホールでレセプションが行われます。併せて、ご参加ください。

*7月23日～30日(土日を除く)まで、同UNハウス1、2階のギャラリーでは、国内外の様々な地域におけるエコツーリズムへの取組みについてのパネル展示が行われています。財団のブースも設置されますので、こちらも併せてお気軽にお立ち寄りください。(入場無料)

● 「国際山岳年」記念行事「思いやりの日」Sunrise of Compassionにおける「富士山ご来光フラッグセレモニー」への参加者募集中

前号のマガジンでもお伝えしましたが、7月28日（日）、富士山御殿場登山口5合目で開催される行事「思いやりの日」Sunrise of Compassionの中で、富士山のご来光に合わせて、フラッグセレモニーが行われます。

行事の概要は、下記の通りです。

主催：「思いやりの日」Sunrise of Compassion 事務局

日時：2002年7月28日（日）午前0時開始

場所：富士山御殿場登山口5合目

1. JR 御殿場線 御殿場駅からバスまたはタクシーで約30分
2. 東名高速御殿場ICから車で約20分

* 「御殿場口」5合目無料駐車場あり（300台）

内容：* 午前0時から音楽、スピーチなどを楽しみます。

* 午前4時半頃、ご来光にあわせて世界に向けて思いやりのエネルギーを発信します。

* まず全員で静かな黙想をして、その後国旗を使って世界平和を呼びかけるフラッグセレモニーを行います。（フラッグセレモニーをお手伝いくださるボランティアを募集中です。）

* この行事は国連が定めた「国際山岳年」の記念行事となっており、インターネット中継及びアメリカのCSテレビ番組を通じて広く世界に放映される予定です。

この行事全体は「思いやりの日」Sunrise of Compassion 事務局が主催されており、すべての参加者は個人としての立場で参加するように要請されています。

フラッグセレモニーは主催者の要請を受けて、有志により行われます。

富士山5合目会場以外の場所でも、世界中で世界平和樹立に向けての様々な活動が行われます。

平和は私達一人一人が築き上げるものです。それぞれの場からの参加をお待ちしています。

<注意事項>

※食事、水などは各位でご用意ください。

※懐中電灯、雨具、防寒着、ゴミ袋などご用意ください。

※トイレは5合目駐車場にあります。会場から徒歩15分かかります。必要に応じて携帯用トイレをご準備ください。

※天候がはっきりしない場合の、本行事に関するお問い合わせは、「思いやりの日」事務局の大久保さん090-3317-0011まで直接お願いします。

● 国際ユース作文コンテスト、締切間近！

今年で第3回目となる「2002年度国際ユース作文コンテスト」のテーマは「調和」です。

いよいよ応募の締切りが7月25日（木）に迫りました。

既にコンテストのことを知っている身近な若者、子ども達に、またパンフレットをお渡しした学校や先生に「応募をよろしく」と一声お掛けいただけましたら幸いです。

直接財団にお問い合わせいただく場合は電話（03-3265-2071）、またはファックス（03-3239-0919）までお願いします。

多数の応募をお待ちしています。

● 名古屋『生命憲章』シンポジウムのお知らせ

8月17日（土）13時～16時（開場12時）、名古屋国際会議場において、五井平和財団主催の名古屋『生命憲章』シンポジウムが開催されます。

本行事では、当財団の上村恒司総務担当ディレクターによる『生命憲章』ガイドダンスとフラッグセレモニーが行われる予定です。

参加は無料です。

お問い合わせ窓口はお世話役の古田仁さん（電話0568-51-9065）です。

【編集後記】

◇7月末、UNESCOの後援を得ている「2002年度国際ユース作文コンテスト」の応募締め切りと、国連の定める「国際エコツアーリズム年」、国連の定める「国際山岳年」それぞれと関係する大きな行事2つが重なりまして財団事務局は暑い夏を迎えています。皆様と共に歩む五井平和財団は、同時に国連とも共に歩んでいます。 （出口）

◇今年も「国際ユース作文コンテスト」の作品が財団事務局に続々と寄せられています。世界各地の子どもや若者達による多種多様なものの見方に触れるのを、とても楽しみにしています。 （中山）

☆☆

第5号 (2002年07月05日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第5号 ★★★★★★★★★★★★★★

□ HEADLINE

- 国連の「国際エコツーリズム年」記念シンポジウム開催のお知らせ
- 国連の「国際山岳年」記念グローバルイベント' Sunrise of Compassion' における「富士山ご来光フラッグセレモニー」開催のお知らせ
- 国際ユース作文コンテスト、締切り間近！（7月25日）
- WPPS主催：国際ピースパル・ピースグリーティングカード・コンテスト作品募集

☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 「国際エコツーリズム年」記念シンポジウム開催のお知らせ
7月29日、五井平和財団と国際連合広報センター主催の「国際エコツーリズム年」記念シンポジウム～「地球を体験し、地球を守る新しい旅」～が、UN（国際連合）ハウス（東京都新宿区神宮前）3階のウ・タント国際会議場において開催されます。
エコツーリズム（地域の自然や文化への理解を深め、そのよりよい保全とゆとりある活用により、みずみずしい観光と産業を持続的に発展させる運動）は、現在、世界中の多くの地域で推奨されています。
本シンポジウムにおいては、5月にカナダで開催された「世界エコツーリズムサミット」の報告を行い、国際エコツーリズム年の意義やエコツーリズムに対する理解を広めます。さらに、エコツアー（自然や文化にやさしい旅行）から得られる教育効果や地域貢献をさまざまな観点から紹介しながら、エコツーリズムの目指す仕組みの提言を行い、今後のさらなる取組みやエコツアーへの参加を促進します。
また、7月23日～30日（土、日は除く）には、同UNハウス・UNギャラリー内において、エコツーリズムに関する展示も行われます。
- 国連の「国際山岳年」記念グローバルイベント' Sunrise of Compassion' における「富士山ご来光フラッグセレモニー」開催のお知らせ
7月28日、富士山御殿場口5合目会場にて、ご来光にあわせて世界に平和の

エネルギーを発信する行事' Sunrise of Compassion' が開催されます。世界中の人々が富士山山腹に集い、28日午前0時から様々な音楽や踊り、自由なスピーチなどを皆で楽しみ、ご来光にあわせて世界に向けて平和のビジョンとエネルギーを発信するという企画です。ご来光を仰いだ後、世界各国の平和を共に祈ろうという趣旨で、フラッグセレモニーが行われます。

第2回目となる本年の行事は、国連の「国際山岳年」記念グローバルイベントの一つに取り上げられており、その映像は、後日世界に向けてCS放送される「国際山岳年」記念番組のオープニングに使用される予定です。

本イベントの詳細は、次号マガジン（8月19日発行予定）の中でお知らせします。

● 国際ユース作文コンテスト、締切り間近！（7月25日）

今年で第3回目となる「2002年度国際ユース作文コンテスト」の応募締切りは、7月25日（財団必着）です。どうぞ奮ってご参加ください。

● WPPS主催：国際ピースパル・ピースグリーティングカード・コンテスト
作品募集

今年も、財団の姉妹団体である国連NGOワールドピースプレーヤーソサエティが主催する「国際ピースパル・ピースグリーティングカード・コンテスト」が行われます。

第5回となる今年のテーマは「グリーティングカードに平和の夢をのせて」です。世界の平和を願い、こうあってほしいという「平和な世界」をのビジョンを描いてグリーティングカードを作ってください。本年度のコンテスト開催国はロシアです。お寄せいただいた作品はロシアのノブゴロド市にて展示されます。明るく元気で楽しい作品をお待ちしています。

【編集後記】

◇富士山でご来光にあわせて世界平和のエネルギーを発信するイベントはガイアシンフォニーの龍村監督のお姉さまが企画している行事で、昨年も富士山で実施されています。今年はその行事が国連の「国際山岳年」とタイアップする運びとなり、その栄えあるイベントでフラッグセレモニーが行えるのですから大いなる喜びです。 (出口)

◇今回で5回目の発行となる本メールマガジンも、お陰様で、331名の講読者（7月5日現在）を有するマガジンに成長しました。皆様のご支援に心より感謝

申し上げます。これからも皆様への的確でタイムリーな情報提供を心掛けて参りますので、ぜひご活用ください。 (中山)

☆☆

第4号 (2002年06月13日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』第4号 ★★★★★★★★★★★★★★★

□ 目次

【NEWS & TOPICS】

- 「国際ユース作文コンテスト」ポスター貼りボランティア募集
- 第4回スコットランドWPPC、開催間近！
- 「国際エコツーリズム年」記念シンポジウムのお知らせ
- ラズロ博士の『マクロシフト』日本語訳版のご紹介
- 財団頒布品のご紹介

☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 「国際ユース作文コンテスト」ポスター貼りボランティア募集
この度、東京都千代田区のご好意で、千代田区内の掲示板に、「2002年度国際ユース作文コンテスト」の案内ポスターを一斉に掲示できることになりました。つきましては、ポスター貼りのお手伝いをしてくださる方を募集します。
ボランティアをご希望の方は、財団事務局 (info@goipeace.or.jp) まで、
1) 氏名、2) 連絡先、3) 財団来訪日 (20日 (木) または21日 (金)) を事前にお知らせください。
- 第4回スコットランドWPPC、開催間近！
6月29日 (土)、財団の姉妹団体ワールドピースプレーヤーソサエティのアラントン・サンクチュアリ (スコットランド・ダンフリース市郊外) にて、“Celebration for World Peace” (世界平和の祝典) と称するイベントが催されます。メインプログラムのWPPC (フラッグセレモニー) のほか、ライブ音楽やダンスなどの各種アクティビティが予定されています。
当日は、多くの皆様のグローバルリンクの形での応援とご参加を何卒よろしくお願い申し上げます。なお、グローバルリンクを実施された場合は、お手数ですが、都道府県名、市区町村名、責任者名ないしはグループ名、参加人数などを、財団事務局 (info@goipeace.or.jp) までご報告ください。

● 「国際エコツーリズム年」記念シンポジウムのお知らせ

来る7月29日（月）、UN（国際連合）ハウス（東京都新宿区神宮前）3階のウ・タント国際会議場において、国連の定めた「国際エコツーリズム年」を記念して、当財団と国際連合広報センターが主催の「国際エコツーリズム年」記念シンポジウム～「地球を体験し、地球を守る新しい旅」～が開催されます。

● ラズロ博士の『マクロシフト』日本語訳版のご紹介

機関誌「平和の創造」第10号の52ページで近日発売と予告していました、第2回五井平和賞受賞者、アービン・ラズロ博士の著作『マクロシフト』の日本語版が、3月6日に発売されました。

現在の地球人類が直面している意識の大変革の必要性と、それを乗り切って平和で調和した精神文明の世界を迎えるための提言が、システム哲学者の視点から見事に解説されています。

一読、地球意識が啓発される科学的根拠に裏付けられた著作です。また『生命憲章』を理解し実行するための副読本としても最適です。

ご注文はお近くの書店まで。

『マクロシフト』アービン・ラズロ著

（文春ネスコ発行／書籍番号：ISBN4-89036-148-0）価格は1800円です。

● 頒布品のご紹介

五井平和財団の頒布品がオンラインで購入できるようになりました。

財団が今まで行ってきた講演会などをまとめた、ビデオや機関誌のバックナンバー、パンフレットなどいろいろと取り揃えています。

【編集後記】

◇日本各地で『生命憲章』ガイダンスが開催されています。

そんな時、精神論や感情論に偏らず冷静に地球人類のおかれている状態を理解しあうのにラズロ博士の『マクロシフト』という本は実にわかりやすく便利です。（出口）

◇ワールドカップサッカーもそろそろ決勝トーナメントへ進出する国が出揃ってきました。出場国同士がフィールド上で激しくぶつかり合う姿は見る者の心を熱くします。同時に、（これはある国連関係者から伺った話ですが）エチオピアでは、ここ10年間、サッカーが本格的に広まり、お陰で部族間の争いが激減したという実際の話もあるそうです。

ここをつくづく感じることは、平和な時代こそが、武力と武力の争いではない
フェアなスポーツプレーをはじめて可能にする、ということです。 (中山)

☆☆

第3号 (2002年05月31日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』 第3号 ★★★★★★★★★★★★★★

□ 目次

【NEWS & TOPICS】

- 西園寺裕夫理事長、インターネット・ラジオ番組に出演
- 『生命憲章』を学ぶ集い、全国各地で開かれる
- 駐日外交官による交流プロジェクト近況
- 国際ユース作文コンテスト作品募集のお知らせ

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 西園寺裕夫理事長、インターネット・ラジオ番組に出演

5月23日深夜、西園寺裕夫理事長と近藤雅美事業担当ディレクターが、姉妹団体ワールドピースプレイヤーソサエティ本部(NY)のデボラ・モルドウ・ディレクターがパーソナリティーを務めているボイスアメリカ(インターネット・ラジオ局)の番組に、ゲスト出演しました。「The Spirit of World Peace (世界平和の精神)」と題する全13回のこのシリーズ番組では、世界平和実現のために各地で活躍している人々に、デボラがインタビューする形式となっています。(言語は英語のみ)

番組の中で、西園寺理事長と近藤ディレクターは、財団の成り立ちに始まり、財団の基本理念、『生命憲章』に込められた精神、各種プロジェクトの紹介等、文字通り「五井平和財団の精神」について、約1時間語りました。そして、番組の締めくくりとして、アジアとオセアニア各国の平和を祈るセレモニーが、軽快な音楽に乗せて行われました。

- 『生命憲章』を学ぶ集い、全国各地で開かれる

全国で『生命憲章』を理解するための取り組みが活発化しています。本年は、国内7カ所で財団主催の地方『生命憲章』シンポジウムが開催されます。松本(波田町)、徳島、神戸においては既に開催されており、今後、名古屋、札幌、仙台、大阪(開催予定日順)において開催される予定です。参加は無料です。

<既に開催された行事>

- 3月30日 長野県波田町におけるピースフォーラムで『生命憲章』講演
- 4月6日 徳島市で『生命憲章』シンポジウム
- 5月12日 神戸市で『生命憲章』シンポジウム

<地方『生命憲章』シンポジウムの今後の予定>

- 8月17日(土) 13時~16時 名古屋『生命憲章』シンポジウム
- 9月14日(土) 13時~16時 札幌『生命憲章』シンポジウム
- 10月27日(日) 13時~16時 仙台『生命憲章』シンポジウム
- 日時未定 大阪『生命憲章』シンポジウム

また、日本各地で、自主活動としての『生命憲章』ガイダンス、講座、勉強会などが開かれています。(3月21日東京都杉並区、4月6日東京都大田区、4月7日高知県土佐市、4月10日東京都目黒区、4月14日東京都渋谷区、4月28日東京都小金井市、4月29日横浜市、5月8日東京都江戸川区、5月13日芝浦工業大学、等)

今後も東京、愛媛、群馬、神奈川等各地で自主開催の『生命憲章』ガイダンスが計画されています。

● 駐日外交官による交流プロジェクト近況

前号で、このプロジェクトの第一弾として、東京都内の中学校で行われた駐日リトアニア大使による講演会についてお伝えしましたが、既に首都圏のいくつかの小中学校から高い関心が寄せられています。

実際、7月には、埼玉県本庄市内の小学校で数カ国の外交官講師を同時に招いて児童達との交流を深めていただく計画が進んでいます。

財団では、引き続き、このような交流会の実施を希望する学校(小中高校)を探しています。プロジェクトにご関心のある方は、財団の教育プログラム担当までお気軽にお問い合わせください。

● 国際ユース作文コンテスト作品募集のお知らせ

今年で第3回目となる「2002年度国際ユース作文コンテスト」の募集をしています。作文の応募締切りは、7月25日(必着)です。

【編集後記】 「ピースポール・プロジェクトについて」

先日、アフリカ、その他でボランティア活動を熱心にされている津田政明さんが、財団のオフィスを来訪されました。最近外出先で古くなったピースポールを見かけると、掃除をしたり、倒れかかったピースポールを垂直に直したりしているそうです。皆さんもどうぞ自分で立てられたピースポール、お近くのピースポールなど見て回ってくださいますよう、よろしく願い申し上げます。

(ワールドカップで外国の方が多くいらっしゃるこの時機は、始めるのにちょうど良い機会です。)

尚、津田さんの記事は機関誌第13号に掲載される予定です。 (望月)

☆☆

第2号 (2002年05月10日配信)

★★★ メールマガジン『平和の創造』第2号 ★★★★★★★★★★★★★★★

□ 目次

【NEWS & TOPICS】

- 駐日外交官による交流プロジェクト・キックオフ！
- ワールドピースプレーヤー ソサエティ本部ディレクターがラジオに出演
- フィリピンのアロヨ大統領がピースポール建立
- 国際ユース作文コンテスト作品募集のお知らせ

☆☆

『生命憲章』

五井平和財団は、私達人類の平和の創造に向けた共通の使命と責任を明確にし一人一人の自覚と実践を促すため、『生命憲章』を広く提唱しています。

☆☆

【NEWS & TOPICS】

- 駐日外交官による交流プロジェクト・キックオフ！
駐日外交官による交流プロジェクトが本格的にスタートしました。財団の平和ネットワークを通じて本プロジェクトへの協力を表明したくださった、駐日外国公館の数は実に52公館、講師として登録していただいた各国外交官の数も60名近くに及んでいます。
その第一歩として、5月7日(火)、私立佼成学園中学校(東京都杉並区)において、アルギルダス・クジス駐日リトアニア共和国大使による、中学1年生を対象にした講演会が実施されました。
講演会は、クジス大使と同行のカマイティス参事官による、英語での自己紹介に始まり、ビデオによるリトアニア紹介、日本とリトアニアとの関係や外交官という仕事についての話などが、二人の外交官講師達の流暢な日本語で展開されました。途中、生徒達からはリトアニアの文化や歴史、人々の生活ぶりなどについて、活発な質問が出されるなど、講演会は和やかで明るい雰囲気の中に終了しました。

財団では、引き続き、今回のような交流会の実施を希望する学校（小・中・高校）を探しています。もし、お心当たりのある方は、財団の教育担当までお気軽にご連絡ください。

● ワールドピースプレーヤーソサエティ本部ディレクターがラジオに出演

財団の姉妹団体ワールドピースプレーヤーソサエティ本部（ニューヨーク）のディレクターであるデボラ・モルドウが、ボイスアメリカのシリーズ番組「The Spirit of World Peace」にパーソナリティーとして出演中です。

4月24日に始まったこの番組では、週代わりで、平和世界実現のために世界各地で活躍している人々にインタビューする構成となっています。今後7月17日までの毎週水曜日の午前10:00から11:00（日本時間毎週木曜日深夜2:00から3:00、再放送同日午後2:00から3:00まで）、VOAのインターネット放送局で聴くことができます。（番組を聴くには、リアルプレーヤーが必要です。下記のページから、無料でダウンロードすることができます。）

また、5月22日（日本時間同23日）には、財団の西園寺裕夫理事長と近藤雅美業務担当ディレクターが、「五井平和財団の精神」と題して、番組に登場しますので、どうぞ楽しみに！

● フィリピンのアロヨ大統領がピースポール建立

4月16日、フィリピン・バタンガス市にあるバタンガス州議会敷地内において、グロリア・マカパガル・アロヨ大統領が、閣僚や政府関係者、外交団、国会議員、宗教界の指導者らを伴って、同16～22日の「アースウィーク」の開始を正式に宣言しました。

そのオープニングイベントの特別ゲストとして西園寺裕夫理事長夫妻が招待されました。同夫妻は、マニラ空港にて、本イベント主催者のヘヘルソン・アルバレス環境天然資源長官および夫人の出迎えを受けました。また、空港到着にあわせて、西園寺理事長による記者会見も行われました。

「平和の時と普遍的な祈り」と題して行われたアースウィーク・セレモニーにおいては、ピースポール除幕式と植樹式がプログラムの中に組み込まれました。同時に『生命憲章』が朗読されました。

フィリピン政府主催のピースポール建立式は今回が3度目で、2001年に行われたアースデー・イベントでは、アロヨ大統領が見守る中、マカラニアン宮殿（大統領官邸）の敷地内にピースポールが建てられました。前年の2000年アースデーの際には、アルバレス国会議員（当時）のリーダーシップにより、フィリピン国会の決議を経て同敷地内にピースポールが建てられました。

● 2002年度 国際ユース作文コンテスト募集開始

今年で第3回目となる「国際ユース作文コンテスト」の募集をしています。

【編集後記】

立夏も過ぎ、ここにメルマガ「平和の創造」第2号をお届けできますことを、幸いに存じます。

お蔭様で、財団の「平和教育プログラム」が充実してきました、「国際ユース作文コンテスト」に加えて、「駐日外交官による交流プロジェクト」の概要を簡単に取りまとめたレターもできました。

こうして、チラシやレターを手渡すという形で紹介してゆけるプログラムが整ってきて感じますのは、口頭で一から説明するのに比べまして随分と楽に、そして正確にプログラムの紹介ができるようになったということです。

ピースフレンズの皆様におかれましても、「国際ユース作文コンテスト」や「駐日外交官による交流プロジェクト」を関係者にお薦めくださる場合は、こうしたチラシやレターを、どうぞご活用ください。

世界人類が平和でありますように（出口）

創刊号（2002年04月19日配信）

★★★ メールマガジン『平和の創造』創刊！ ★★★★★★★★★★★★★★★★

五井平和財団メールマガジン『平和の創造』、ついに創刊！

機関誌やホームページと並ぶ、財団の情報媒体として、新着情報を皆様にお届けして参ります。

購読は無料。当面は、月1～2回の発行を目指しています。

□ 目次

【NEWS & TOPICS】

- フィリピンのアロヨ大統領がピースポール建立
- ホームページ全面改訂
- 総合的な学習の時間を支援する「駐日外交官による交流授業プロジェクト」
- 2002年度 国際ユース作文コンテスト募集開始

☆☆

【NEWS & TOPICS】

- フィリピンのアロヨ大統領がピースポール建立
2002年4月16日、フィリピン・バタンガス市にあるバタンガス州議会敷地内において、グロリア・マカパガル・アロヨ大統領が、閣僚や政府関係者、外交団、国会議員、宗教界の指導者らを伴って、同16～22日の「アースウィーク」の開始を正式に宣言しました。
そのオープニングイベントの特別ゲストとして西園寺裕夫理事長夫妻が招待されました。同夫妻は、マニラ空港にて、本イベント主催者のヘヘルソン・アルバレス環境天然資源長官および夫人の出迎えを受けました。また、空港到着にあわせて、西園寺理事長による記者会見も行われました。
「平和の時と普遍的な祈り」と題して行われたアースウィーク・セレモニーにおいては、ピースポール除幕式と植樹式がプログラムの中に組み込まれました。同時に『生命憲章』が朗読されました。
フィリピン政府主催のピースポール建立式は今回が3度目で、2001年に行われたアースデー・イベントでは、アロヨ大統領が見守る中、マカラニアン宮殿

(大統領官邸)の敷地内にピースポールが建てられました。前年の2000年アースデーの際には、アルバレス国会議員(当時)のリーダーシップにより、フィリピン国会の決議を経て同敷地内にピースポールが建てられました。

● 五井平和財団のホームページ、全面改訂される

4月19日付で財団のホームページが全面改訂されました。役に立つ最新情報が満載ですので、どうぞご活用ください。

● 総合的な学習の時間を支援する「駐日外交官による交流授業プロジェクト」

五井平和財団では、学校における「総合的な学習の時間」、特にその中でも「国際理解教育」への支援を推進することをねらいとして、駐日外交官による「国際理解教育」を希望する各学校(小・中・高校)での交流授業を学校とともに企画・推進するコーディネート業務を行っています。

● 2002年度 国際ユース作文コンテスト募集開始

今年で第3回目となる「国際ユース作文コンテスト」の募集を開始しました。

【編集後記】

近年「メルマガ」という言葉が市民権を得るようになってきましたが、当財団におきましても、平和活動をサポートして下さっている賛助会員をはじめ、高い関心をお持ちの方々への積極的な情報提供を進めるため、本メールマガジンを発行することになりました。

今後、皆様からのご意見やご感想も積極的に取り入れながら、内容をより一層充実させて参りたいと思いますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

尚、最近は、いわゆる迷惑メール(スパムメール)の存在が指摘されていますが、本メールマガジンは、希望者自らが自分の意思で読者登録・解除を行うシステムですので、どうぞご安心ください。
